

第 21 回

江 東 区 政 世 論 調 査

平成 25 年



48万人都市として更なる発展に向けて

江東区政世論調査は、昭和48年から隔年で実施してきており、今年で21回目となります。本区では、この10年ほどの間に人口が7万8千人以上増加し、今や48万人を超えております。

私は、江東区長として2期目を務めておりますが、このような急激な人口増加や臨海部の大規模開発など、本区に大きな影響を及ぼす社会環境の変化を踏まえ、将来のまちづくりの指針となる基本構想とその実現に向けた長期計画に基づき、区政運営の着実な推進に取り組んでいるところです。

これまでの取り組みが評価され、今回の調査でも、定住意向率が90.7%と非常に高い水準を維持していることは大変喜ばしいことではありますが、今後も高い定住意向に満足することなく、区民生活に密着した行政課題をひとつひとつ解決し、「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」の実現に向け、邁進してまいります。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて多くの競技が開催される本区は、スポーツ施設以外にも世界中のメディアの拠点となるメイン・メディアセンターも設置されるなど、オリンピック・パラリンピックの開催を契機にさらに大きく発展します。7年後、世界各国から本区を訪れるたくさんの方々を、緑豊かな街並みでお迎えし、皆様とともにおもてなしをしたいと考えております。そのために、「CITY IN THE GREEN」事業をはじめ、現在展開している各事業が目に見える形で実を結び、夢と感動に包まれた「オリンピック都市・江東」の躍動感や活気を感じてもらえるよう、世界に誇れる都市を目指します。

最後に、本調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民の皆様にご心から御礼を申し上げます。調査結果につきましては、今後の区政運営や施策立案の際の貴重な基礎資料として、活用してまいります。

平成25年11月

江東区長 山崎 孝明

1. 調査目的

江東区政の各分野について区民の意識や動向、意見や要望などを把握することにより、今後の区政運営の参考に資する。

2. 調査の内容

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| (1) 定住性 | (5) 南北交通 | (9) 充実すべき施設 |
| (2) 防災対策 | (6) 選挙 | (10) 施策への要望 |
| (3) 男女共同参画 | (7) こうとう区議会だより | |
| (4) 温暖化対策 | (8) 広報 | |

3. 調査の設計

- | | |
|--------------|--|
| (1) 調査地域 | 江東区全域 |
| (2) 調査対象 | 江東区在住の満20歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 1,200人 |
| (4) 調査対象者の抽出 | |
| ①母集団 | 平成25年5月31日現在の江東区住民基本台帳上の満20歳以上の男女（外国人を除く） |
| ②地点数 | 120地点（1地点10サンプル） |
| ③抽出法 | 層化2段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出） |
| ④層化 | 1又は2箇所の出張所（旧出張所を含む）の所管区域を単位として7地区に層化（図1・表1参照） |
| ⑤地点数配分 | 1地点が10サンプルとなるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した（合計120地点） |
| ⑥地点抽出 | 各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。 |
| ⑦対象者抽出 | 抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。 |
| (5) 調査期間 | 平成25年6月29日～7月15日 |
| (6) 調査機関 | 株式会社 エスピー研 |

図1 地区区分図

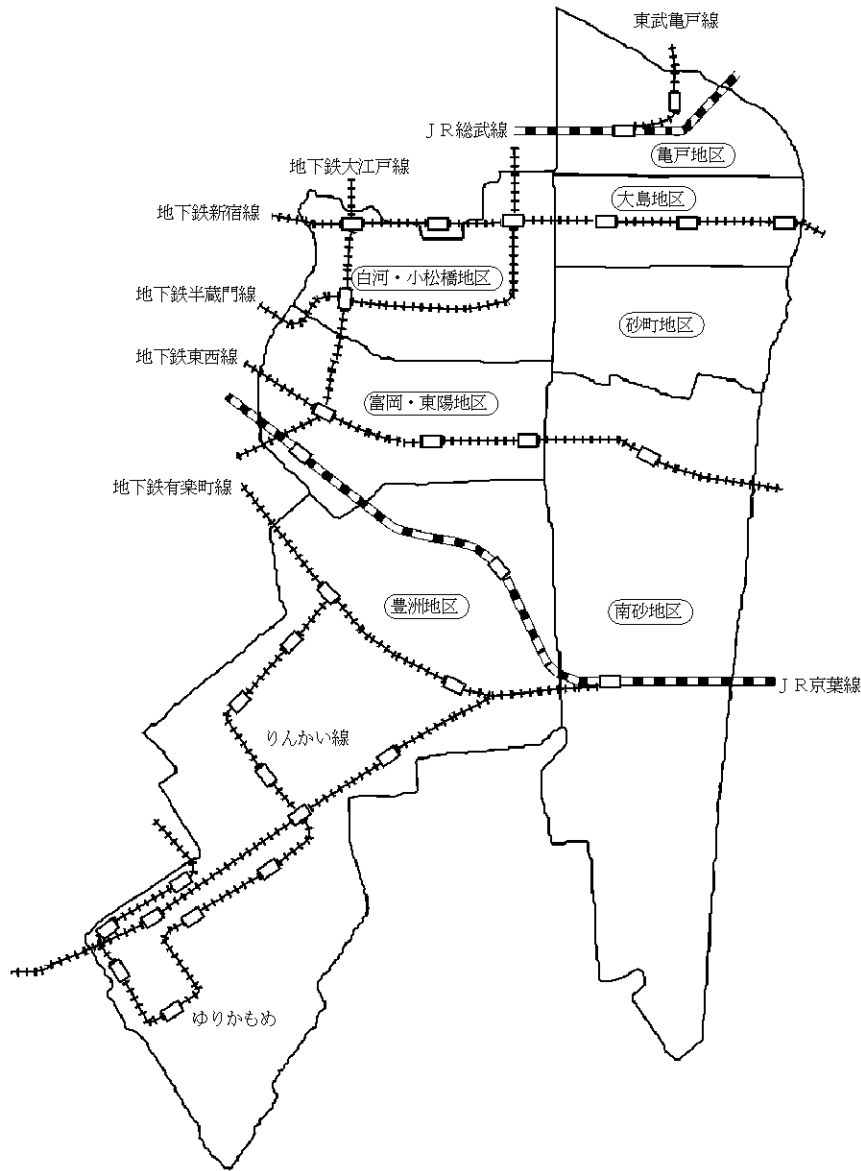


表1 地区・町丁名対応表

地区	該当町丁目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目1番1～5号・5～7番、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀戸	亀戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂1・5丁目、南砂2丁目24～34番、東砂1～5丁目
南砂	東砂6～8丁目、南砂2丁目（1番1～5号・5～7番・24～34番を除く）・3・4・6・7丁目、新砂1丁目（1番を除く）・2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

※平成25年6月1日現在

4. 調査方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 巻末綴じ込みの調査票を使用
- (3) 予告はがき 「江東区政世論調査のお願い」の調査訪問予告はがきをあらかじめ郵送した。
- (4) 再訪問 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、調査が円滑に遂行されるように心掛けた。

5. 回収結果

(1) 回収結果内訳

地 区	満 20 歳以上人口 (構成比)	標本数	有効回収数	有効回収率
区 全 体	369,966 人 (100.0%)	1,200	906	75.5%
白河・小松橋	58,934 人 (15.9%)	190	138	72.6%
富岡・東陽	52,407 人 (14.2%)	170	120	70.6%
豊 洲	74,587 人 (20.2%)	240	181	75.4%
亀 戸	43,247 人 (11.7%)	140	102	72.9%
大 島	47,896 人 (12.9%)	150	121	80.7%
砂 町	58,840 人 (15.9%)	190	142	74.7%
南 砂	34,055 人 (9.2%)	120	102	85.0%

(2) 回収不能数 294 票 回収不能率 24.5%

(3) 回収不能内訳

回収不能項目	件数	構成比
拒 否	80	27.2%
長 期 不 在	15	5.1%
短 期 不 在	166	56.5%
転 居 ・ 転 出	22	7.5%
住 所 不 明	5	1.7%
病 気 ・ 入 院 ・ 死 亡	4	1.4%
そ の 他	2	0.7%

6. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると100%にならないことがある。
- (3) 標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基礎(n)、及び②回答比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 比率算出の基礎 (サンプル数)
p = 回答の比率

回答の比率(p) 基礎(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
906	± 2.8%	± 3.8%	± 4.3%	± 4.6%	± 4.7%
800	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) 1. 表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。

2. 層化を行った場合、誤差は上表よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が906人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.3%である。」

7. 集計・分析にあたって

- (1) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (2) フェイスシート7項目およびそれに準ずる設問として2項目を採用した。
- ①地区別
 - ②性別 (F 1)
 - ③性・年齢別 (F 1 × F 2)
 - ④職業別 (F 3)
 - ⑤家族人数別 (F 4)
 - ⑥ライフステージ別 (F 5)
 - ⑦住居形態別 (F 6)
 - ⑧居住年数別 (問 1)
 - ⑨定住・転出意向別 (問 2)

- (3) 巻末相関表には、(2)の9項目を基本分類軸として掲載した。また、巻末相関表および本編中のクロス集計結果のグラフや表の分類軸は、無回答を省いたものを掲載している。
- (4) 分析に使用したパーセント表示は、全体については小数点第2位を四捨五入して小数点第1位を算出したものを使用した。また、クロス集計によるグラフ上で比率の少ないものは省略した場合もある。したがって、同一項目で小数点第1位と小数点第2位の四捨五入で数値が異なる場合や、回答比率の合計が100%にならないものがある。
- (5) 図、表中の数字で「—」(バー)はその項目に該当する回答がまったくないものを示す。
- (6) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

独身期	40歳未満の独身者
家族形成期	40歳未満のこどもがいない夫婦、または一番上のこどもが小学校入学前の人
家族成長前期	一番上のこどもが小・中学生の人
家族成長後期	一番上のこどもが高校・大学生の人
家族成熟期	64歳以下で一番上のこどもが学校を卒業している人
老齢期	65歳以上の人

- (7) 「調査結果の分析」の分析軸で、職業別の内容は以下のとおりである。

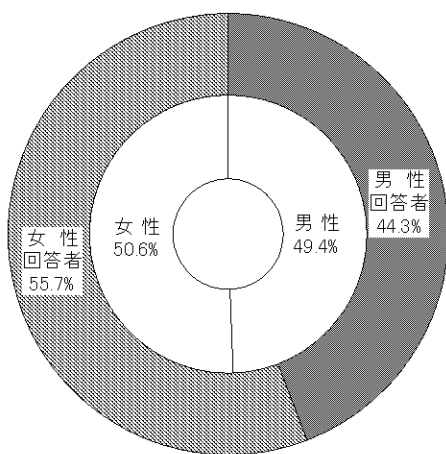
有職男性	男性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
有職女性	女性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
専業主婦	職業が「専業主婦」に該当する人
学生	職業が「学生」に該当する人
無職	職業が「無職」に該当する人

8. サンプル（調査回答者）特性

今回の回答者の特性は、下記のとおりである。なお、母集団とは住民基本台帳上の満20歳以上の男女全員（外国人を除く）である。

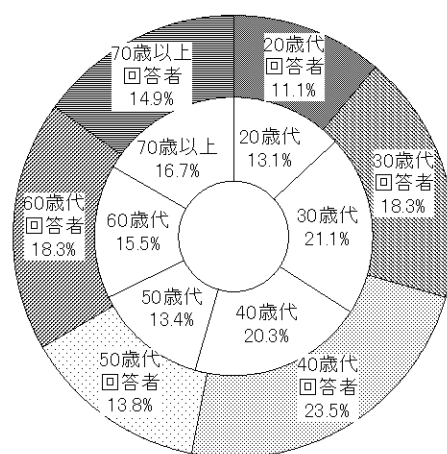
(1) 性別

◎母集団は女性の方が多く、回答者も女性の方が多い。



(2) 年齢

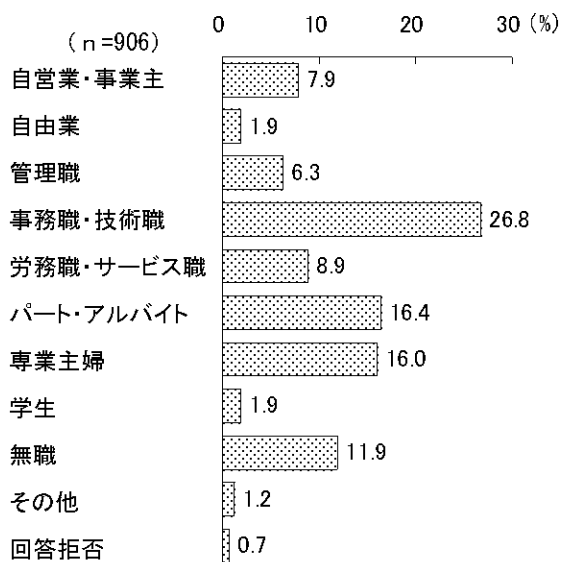
◎母集団の割合に比べて20歳代、30歳代が小さく、40歳代、60歳代が大きい。



(注) 内円は母集団（江東区在住の満20歳以上の区民（外国人を除く））の構成比、外円は調査回答者の構成比を示している。

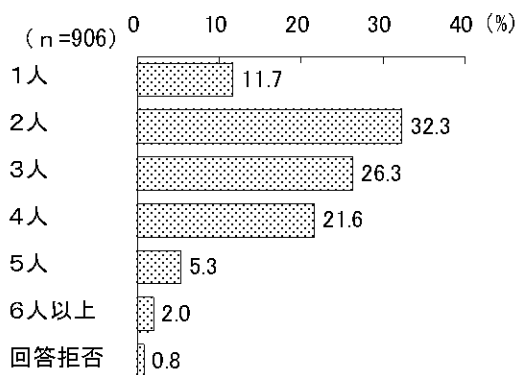
(3) 職業

◎事務職・技術職が多く、次いでパート・アルバイトが多い。



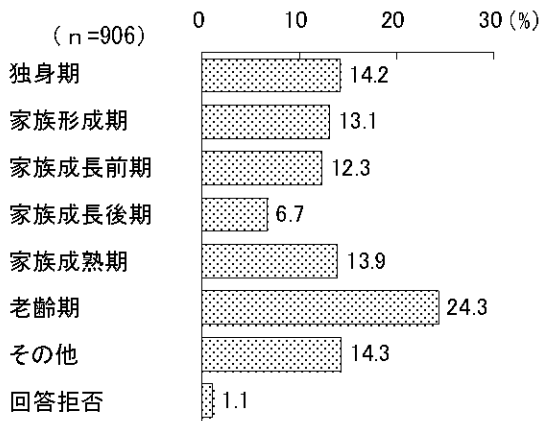
(4) 家族人数

◎2人家族が3割を超えている。



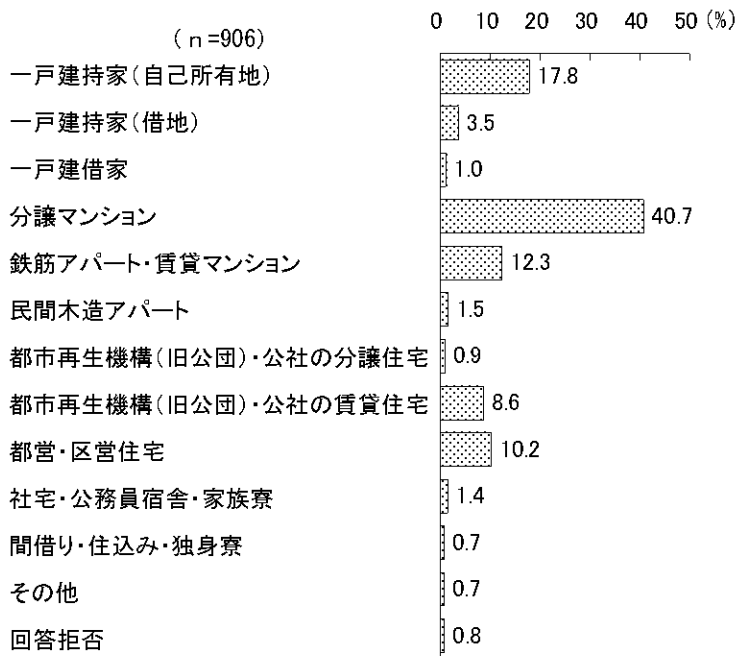
(5) ライフステージ

◎老齢期が2割台半ばとなっている。



(6) 住居形態

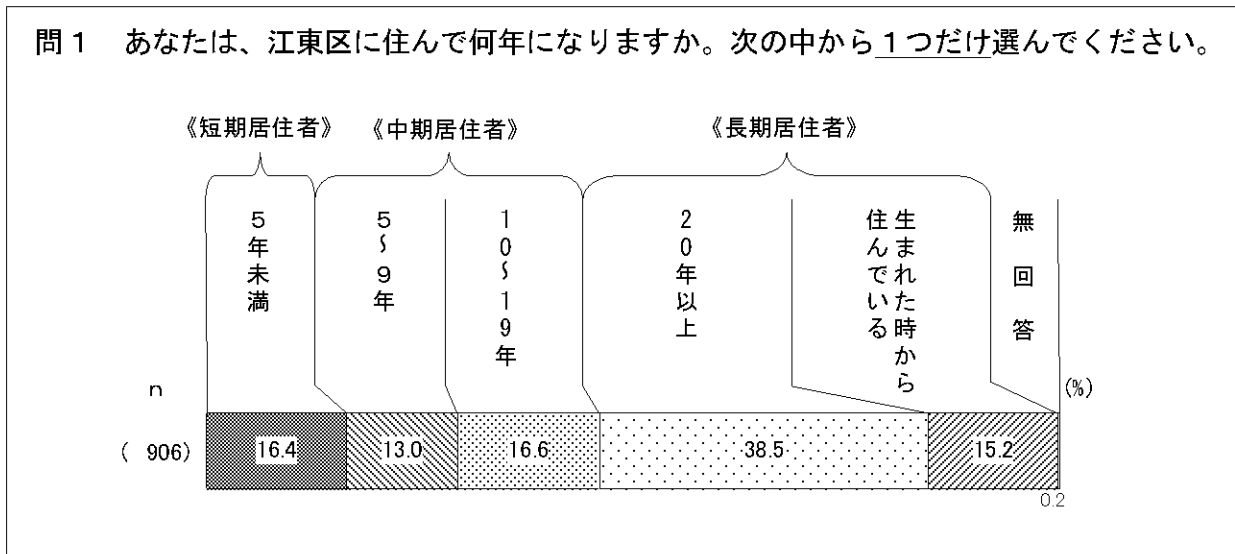
◎分譲マンションが最も多く、次いで一戸建持家（自己所有地）が多い。



1 定住性

(1) 居住年数

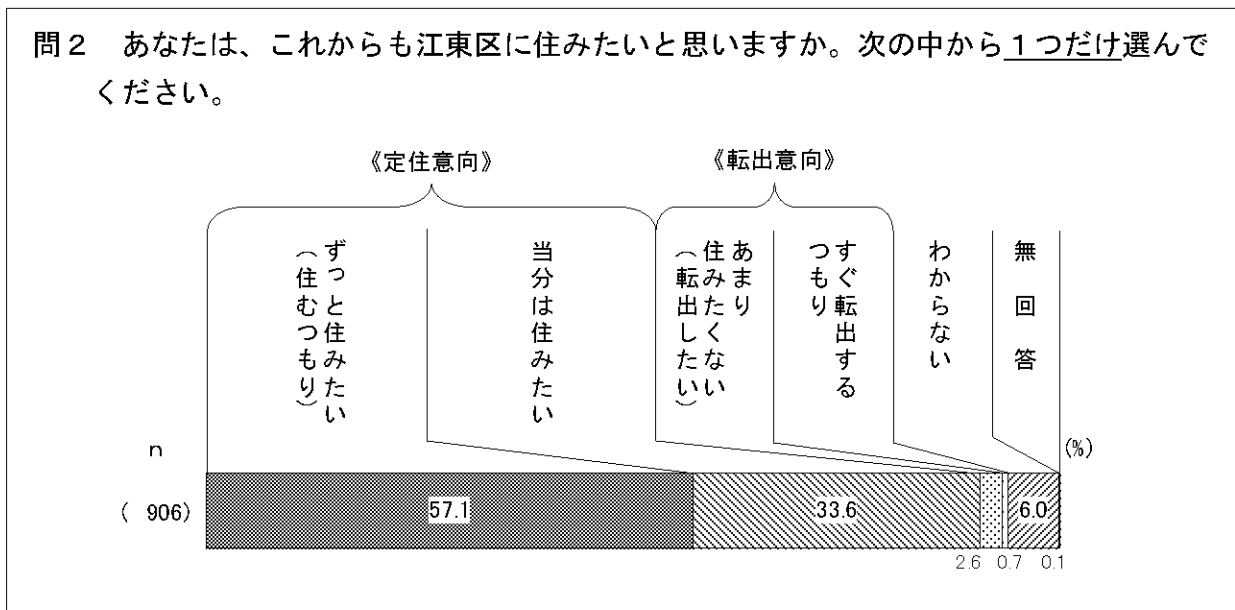
◇《長期居住者》は5割を超える



○居住年数については、「20年以上」(38.5%)と「生まれた時から住んでいる」(15.2%)の2つを合わせた《長期居住者》(53.7%)が5割を超えている。

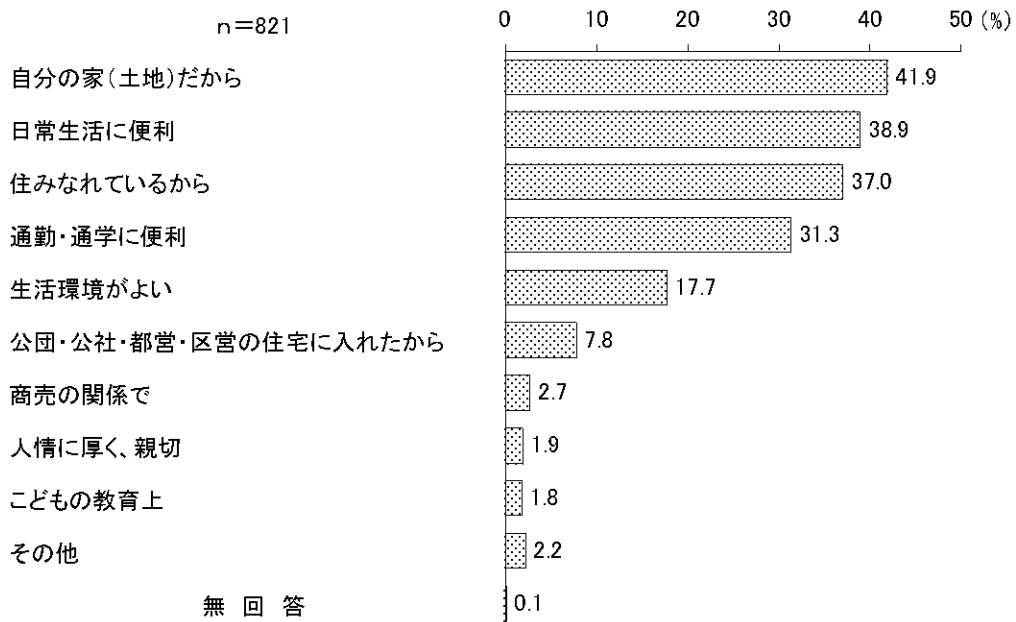
(2) 定住・転出意向

◇《定住意向》はほぼ9割



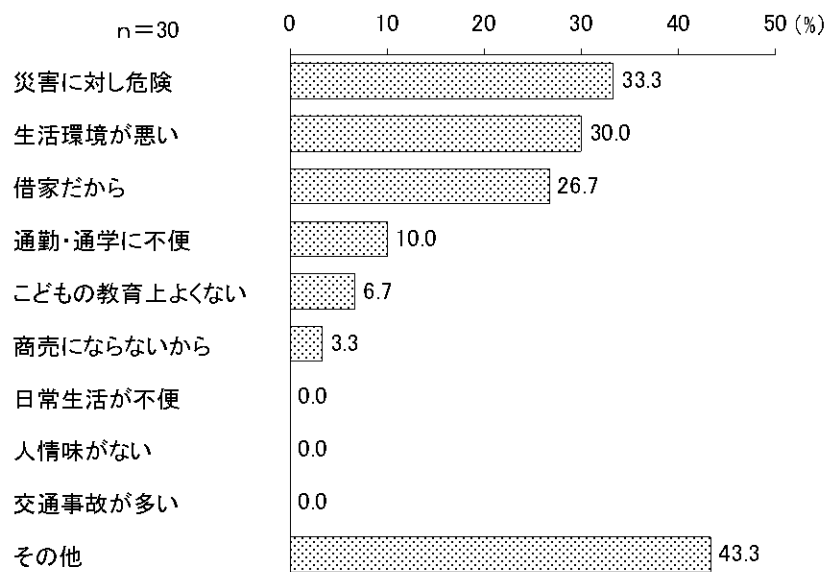
○定住・転出意向については、「ずっと住みたい (住むつもり)」(57.1%)と「当分は住みたい」(33.6%)の2つを合わせた《定住意向》(90.7%)はほぼ9割となっている。

【定住意向理由（複数回答）】（2つ以内で回答）



○定住意向理由については、「自分の家（土地）だから」（41.9%）が4割を超え最も多く、次いで「日常生活に便利」（38.9%）、「住みなれているから」（37.0%）、「通勤・通学に便利」（31.3%）と続いている。

【転出意向理由（複数回答）】（2つ以内で回答）

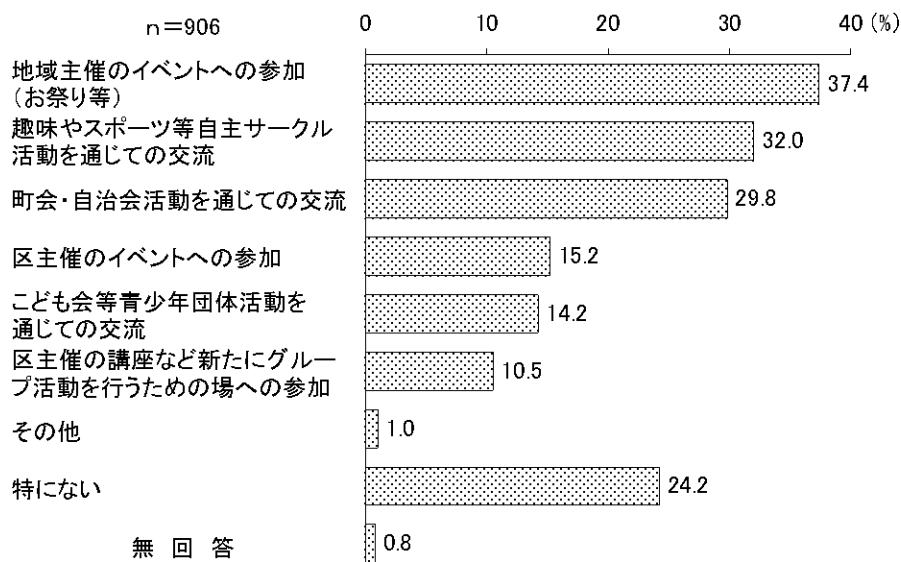


○転出意向理由としては、「災害に対し危険」（33.3%）が3割を超え最も多く、次いで「生活環境が悪い」（30.0%）、「借家だから」（26.7%）と続いている。

(3) 新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民との交流

◇「地域主催のイベントへの参加（お祭り等）」が4割近く

問3 ご近所の中で新たに江東区に住まれた方と、以前から住んでいる方が交流を深める場合、あなたはどのようなことなら参加できますか。次の中からすべて選んでください。



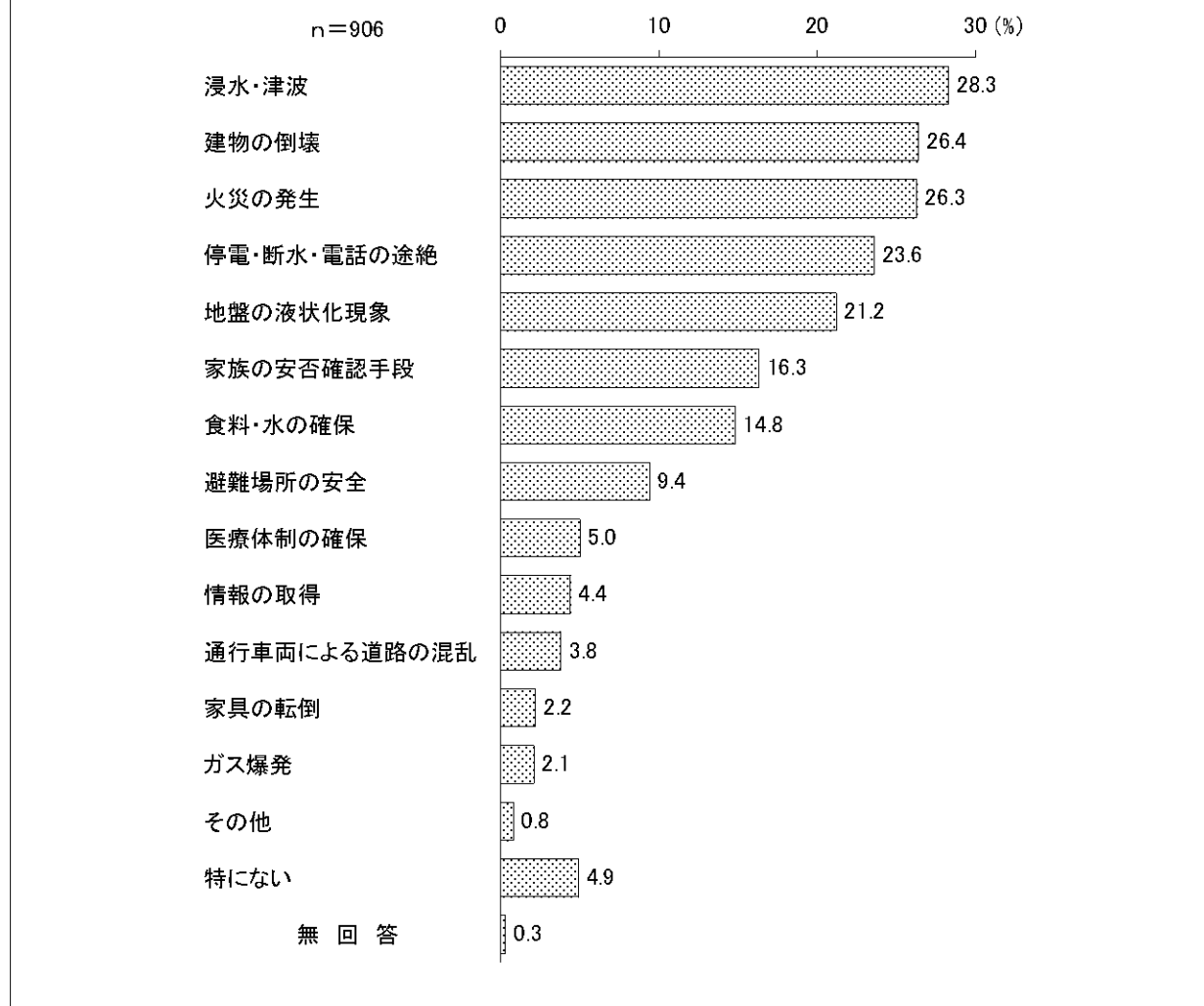
○新たに江東区に住んだ区民と、以前から江東区に住んでいる区民が交流を深めるために参加できることは何か聞いたところ、「地域主催のイベントへの参加（お祭り等）」（37.4%）が4割近くで最も多く、次いで「趣味やスポーツ等自主サークル活動を通じての交流」（32.0%）、「町会・自治会活動を通じての交流」（29.8%）と続いている。

2 防災対策

(1) 震災時の不安

◇「浸水・津波」が3割近く

問4 今後、東京に大地震が発生した場合、あなたが特に不安だと思うものを次の中から2つまで選んでください。

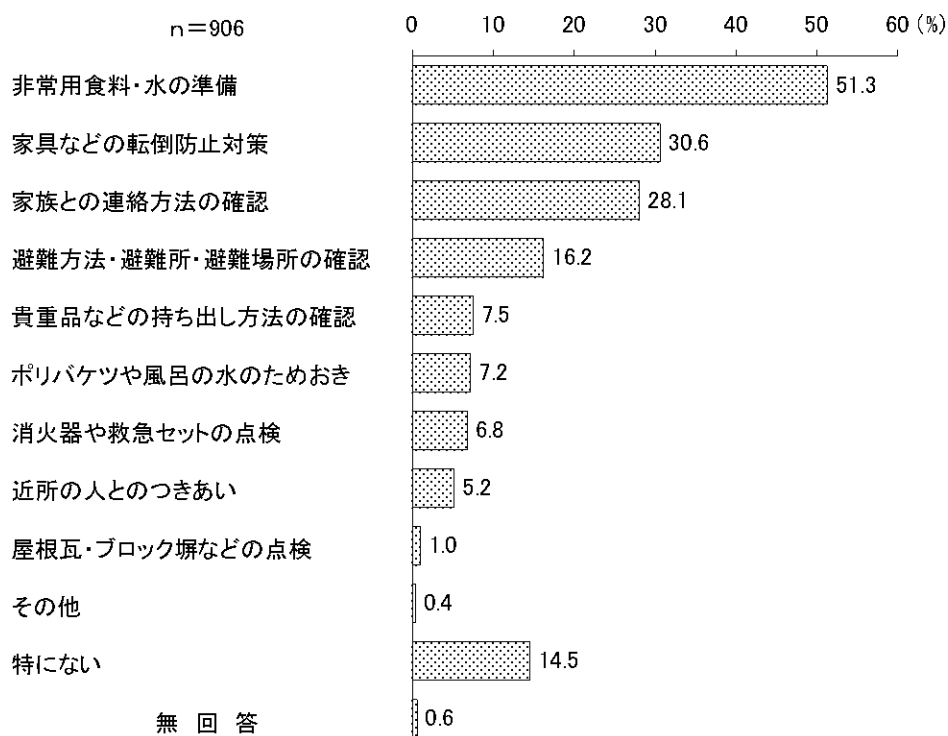


○大地震が起きたときに特に不安だと思うことを聞いたところ、「浸水・津波」(28.3%)が3割近くで最も多く、次いで「建物の倒壊」(26.4%)、「火災の発生」(26.3%)、「停電・断水・電話の途絶」(23.6%)と続いている。

(2) 震災時の備え

◇「非常用食料・水の準備」が5割を超える

問5 あなたの家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることを次の中から2つまで選んでください。

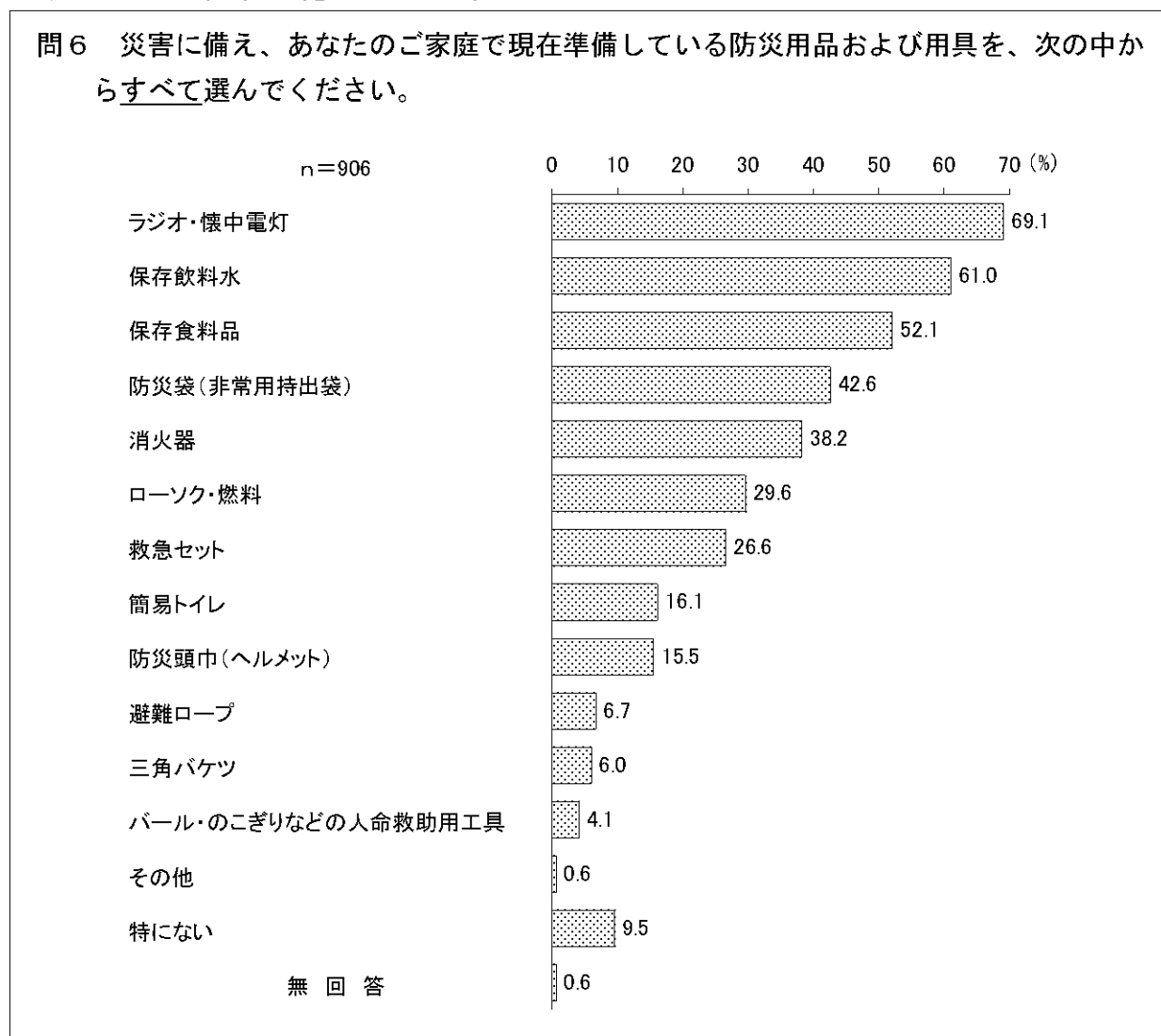


○大地震に備えて家庭で普段から特に心掛けていることは何か聞いたところ、「非常用食料・水の準備」(51.3%)が5割を超え最も多く、次いで「家具などの転倒防止対策」(30.6%)、「家族との連絡方法の確認」(28.1%)と続いている。

(3) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「ラジオ・懐中電灯」がほぼ7割

問6 災害に備え、あなたのご家庭で現在準備している防災用品および用具を、次の中からすべて選んでください。

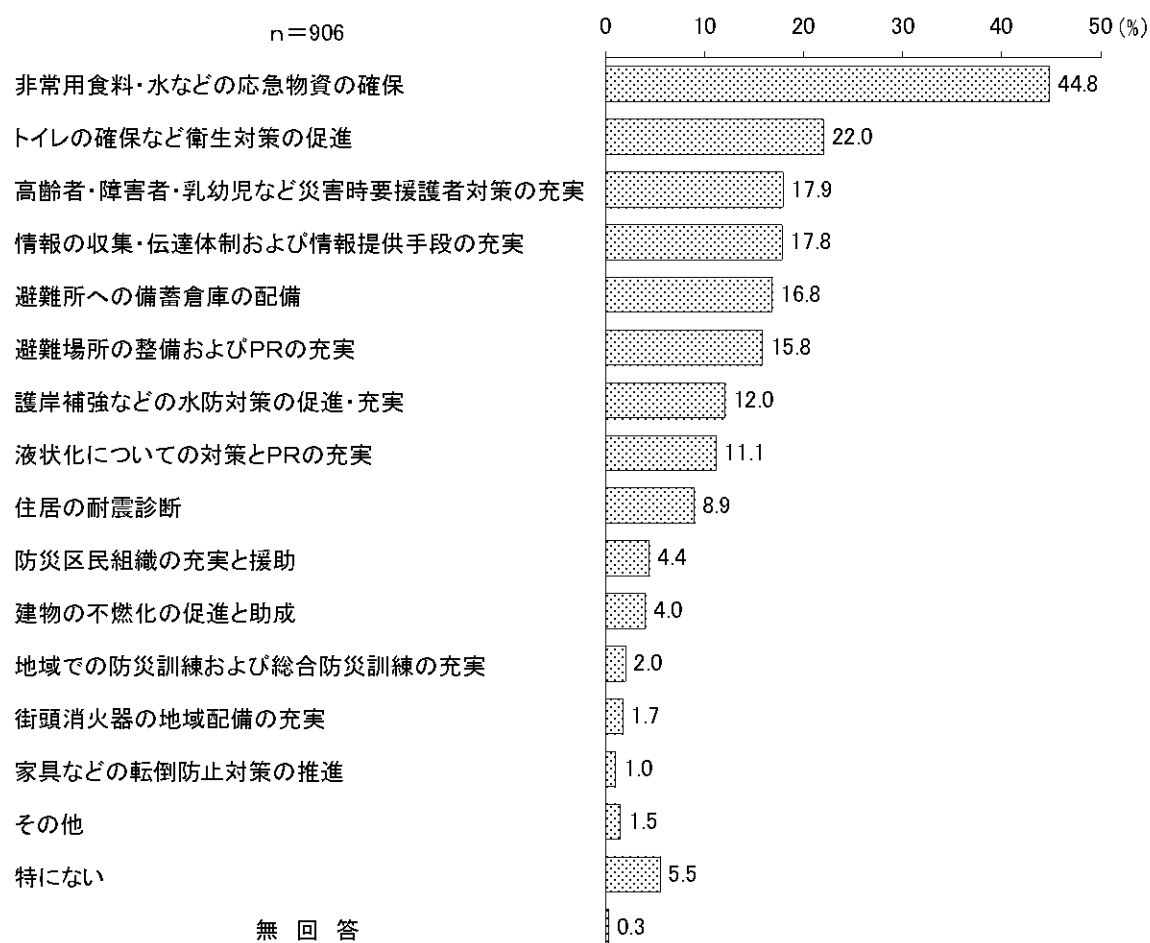


○災害に備えて家庭で準備している防災用品および用具を聞いたところ、「ラジオ・懐中電灯」(69.1%)がほぼ7割で最も多く、次いで「保存飲料水」(61.0%)、「保存食料品」(52.1%)、「防災袋(非常用持出袋)」(42.6%)と続いている。

(4) 防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」が4割台半ば

問7 あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことを次の中から2つまで選んでください。

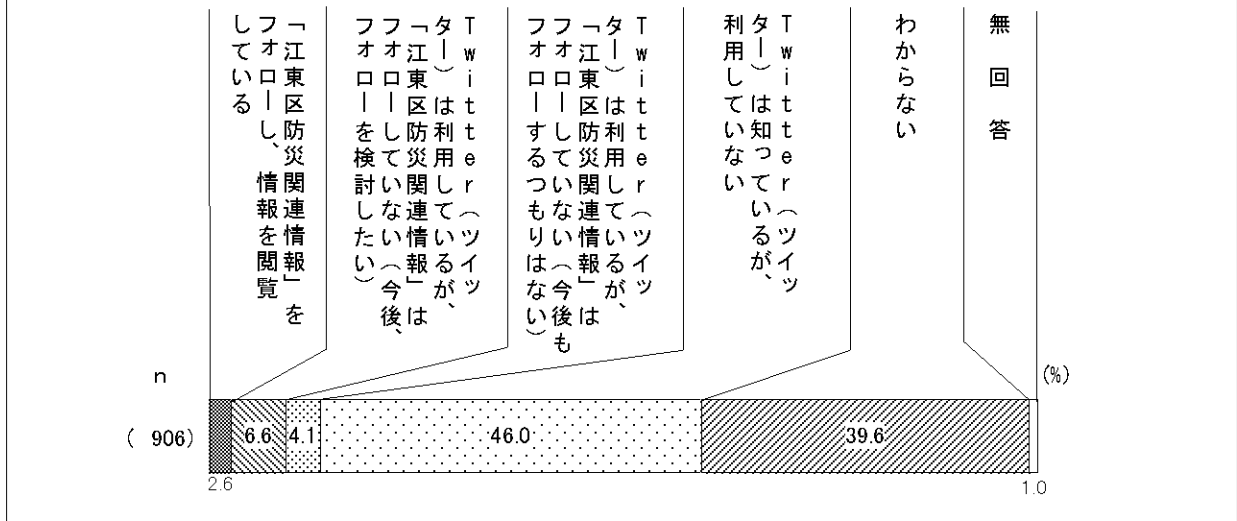


○大地震の際の防災対策として特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(44.8%)が4割台半ばで最も多く、次いで「トイレの確保など衛生対策の促進」(22.0%)と続いている。

(5) 「江東区防災関連情報」の利用状況

◇「Twitter (ツイッター) は知っているが、利用していない」が4割台半ば

問8 本区は、平成24年4月より SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の Twitter (ツイッター) 上で、アカウント「江東区防災関連情報」を運用し、情報発信を行っています。本サービスの利用状況について次の中から1つだけ選んでください。

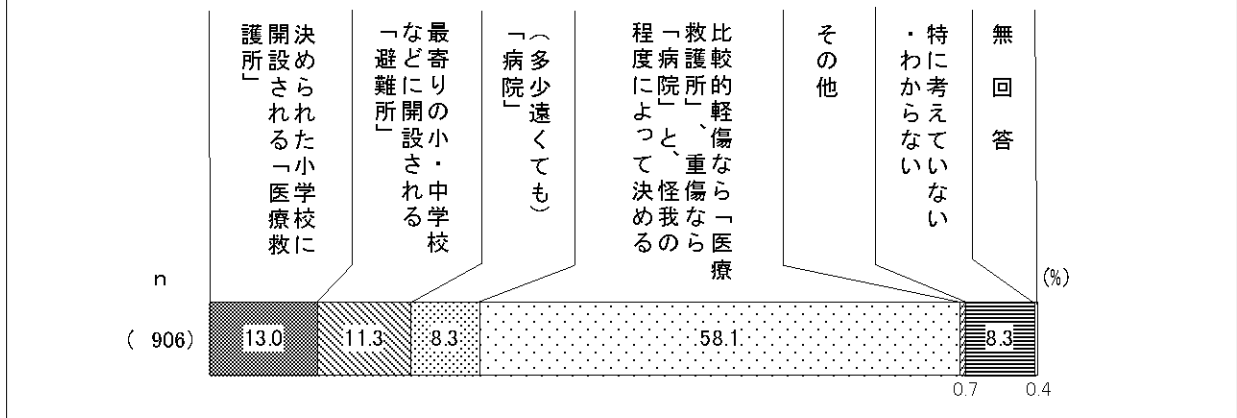


○「江東区防災関連情報」の利用状況を聞いたところ、「Twitter (ツイッター) は知っているが、利用していない」(46.0%) が4割台半ばで最も多く、次いで「Twitter (ツイッター) は利用しているが、『江東区防災関連情報』はフォローしていない(今後、フォローを検討したい)」(6.6%) と続いている。

(6) 災害発生時に怪我をした場合に行く場所

◇「比較的軽傷なら『医療救護所』、重傷なら『病院』と、怪我の程度によって決める」が6割近く

問9 災害が発生し、あなたやあなたの家族(周りの人)が怪我をしてしまい、家庭での治療が難しい場合、どこに行きますか。あてはまるものを次の中から1つだけ選んでください。

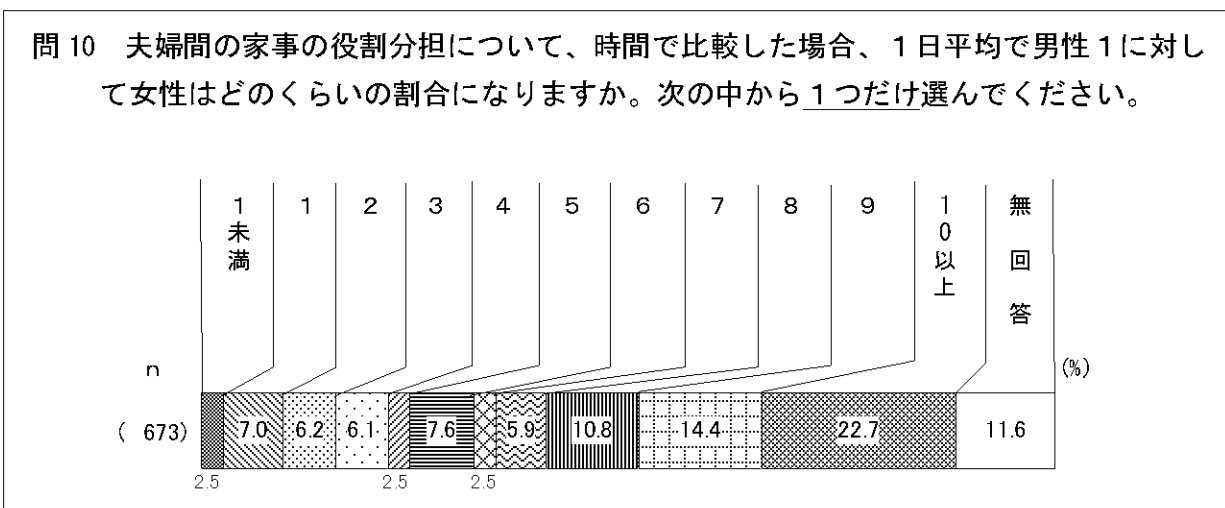


○災害が発生し、あなたやあなたの家族(周りの人)が怪我をしてしまい、家庭での治療が難しい場合、どこに行くか聞いたところ、「比較的軽傷なら『医療救護所』、重傷なら『病院』と、怪我の程度によって決める」(58.1%) が6割近くで最も多くなっている。

3 男女共同参画

(1) 夫婦間の家事の役割分担

◇「10以上」が2割を超える

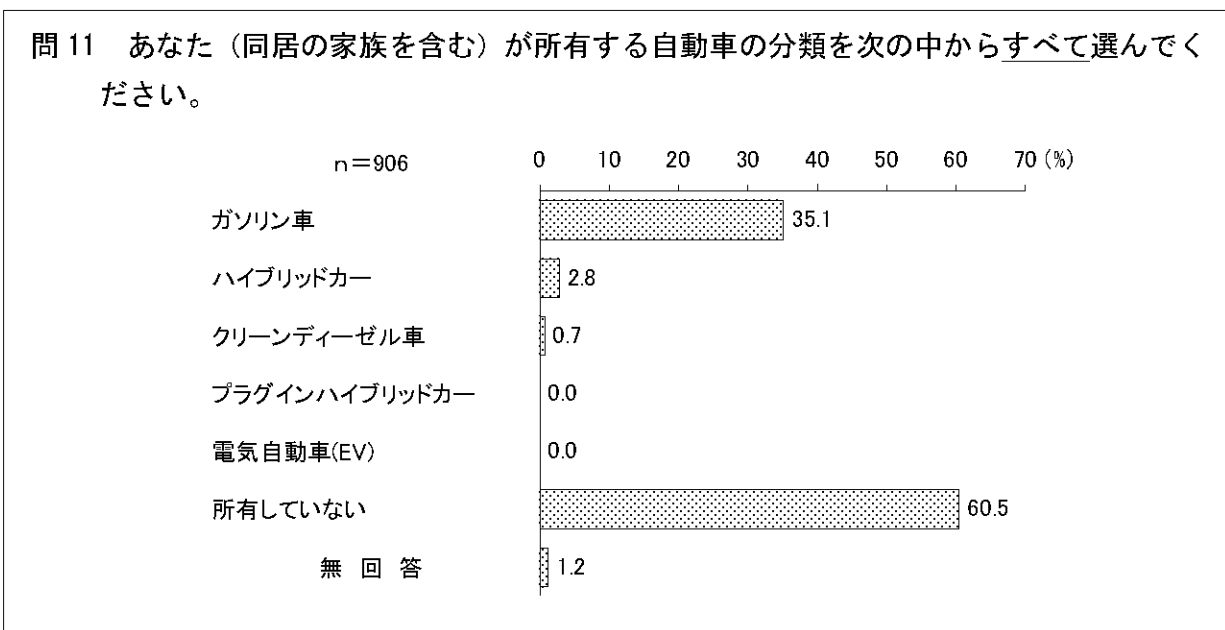


○夫婦間の家事の役割分担を聞いたところ、「10以上」(22.7%)が2割を超え最も多く、次いで「9」(14.4%)、「8」(10.8%)と続いている。

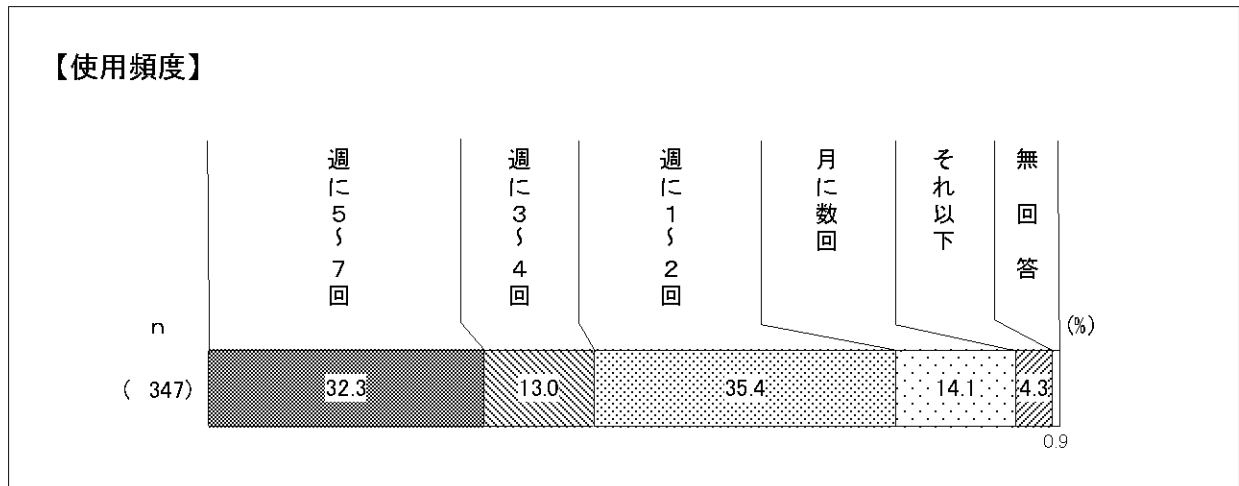
4 温暖化対策

(1) 所有する自動車の分類

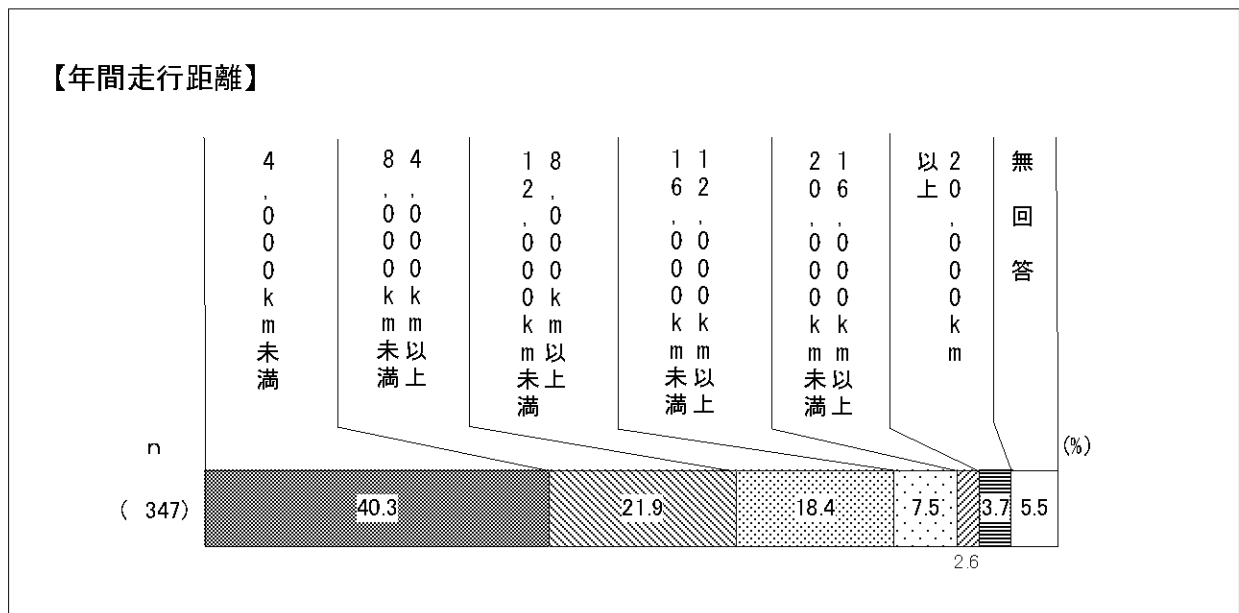
◇「ガソリン車」が3割台半ば



○所有する自動車の分類を聞いたところ、「ガソリン車」(35.1%)が3割台半ばで最も多く、次いで「ハイブリッドカー」(2.8%)と続いている。一方、「所有していない」(60.5%)はほぼ6割となっている。

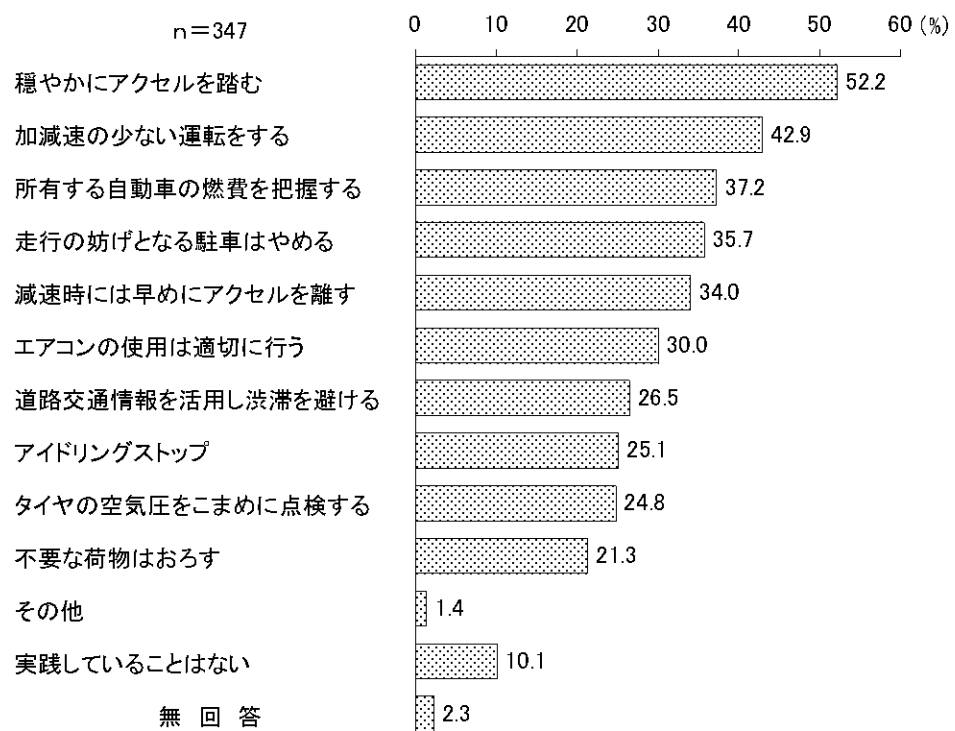


○使用頻度を聞いたところ、「週に1〜2回」(35.4%)と「週に5〜7回」(32.3%)が3割台で多くなっている。



○年間走行距離を聞いたところ、「4,000km未満」(40.3%)が4割で最も多く、次いで「4,000km以上8,000km未満」(21.9%)、「8,000km以上12,000km未満」(18.4%)と続いている。

【エコドライブの実践状況（複数回答）】

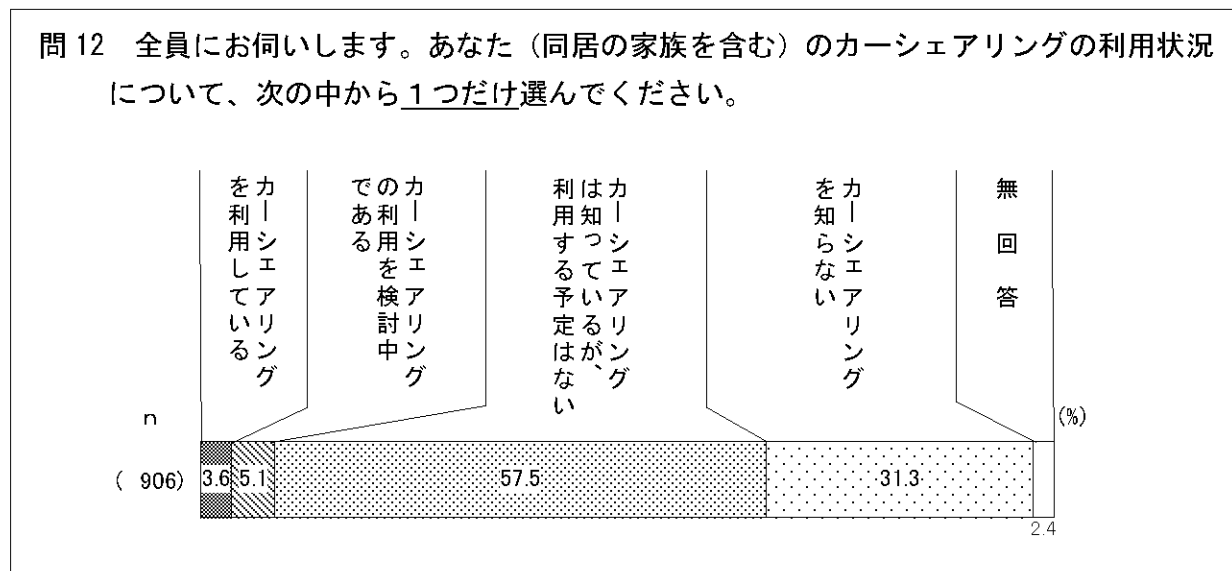


○エコドライブの実践状況を聞いたところ、「穏やかにアクセルを踏む」（52.2%）が5割を超え最も多く、次いで「加減速の少ない運転をする」（42.9%）、「所有する自動車の燃費を把握する」（37.2%）、「走行の妨げとなる駐車はやめる」（35.7%）と続いている。

(2) カーシェアリングの利用状況

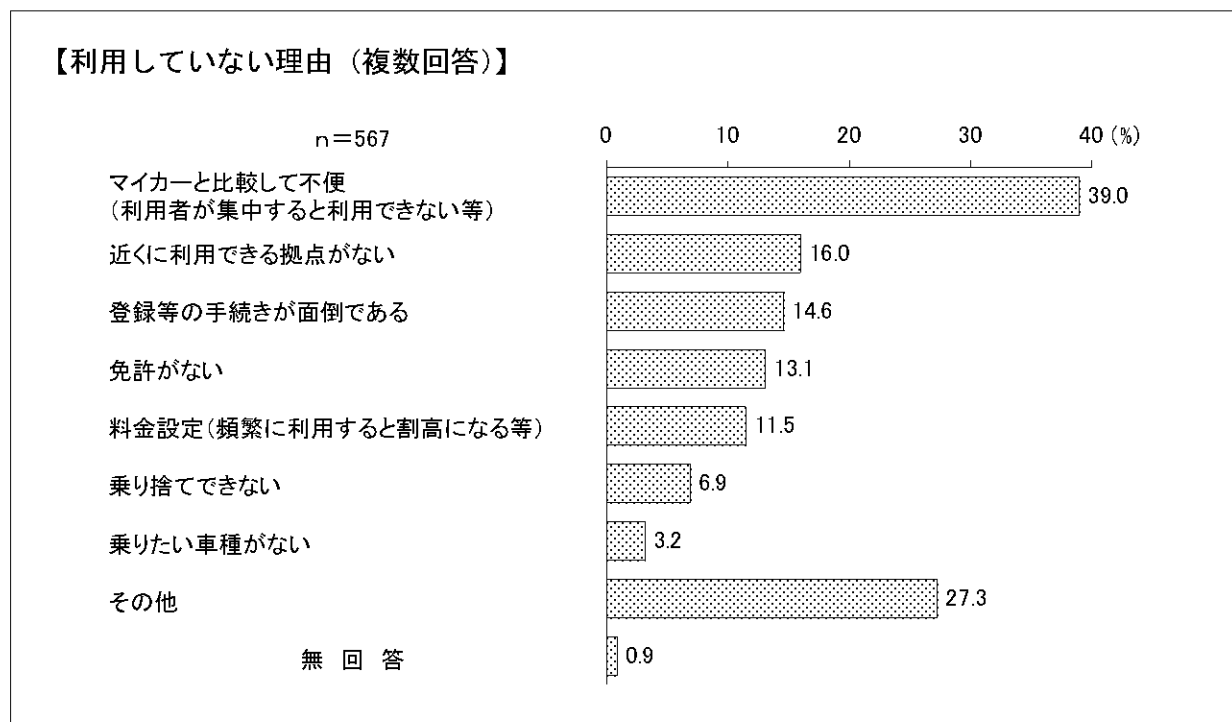
◇「カーシェアリングは知っているが、利用する予定はない」が6割近く

問 12 全員にお伺いします。あなた（同居の家族を含む）のカーシェアリングの利用状況について、次の中から1つだけ選んでください。



○カーシェアリングの利用状況を聞いたところ、「カーシェアリングは知っているが、利用する予定はない」(57.5%)が6割近くで最も多くなっている。一方、「カーシェアリングを知らない」(31.3%)は3割を超えている。

【利用していない理由（複数回答）】

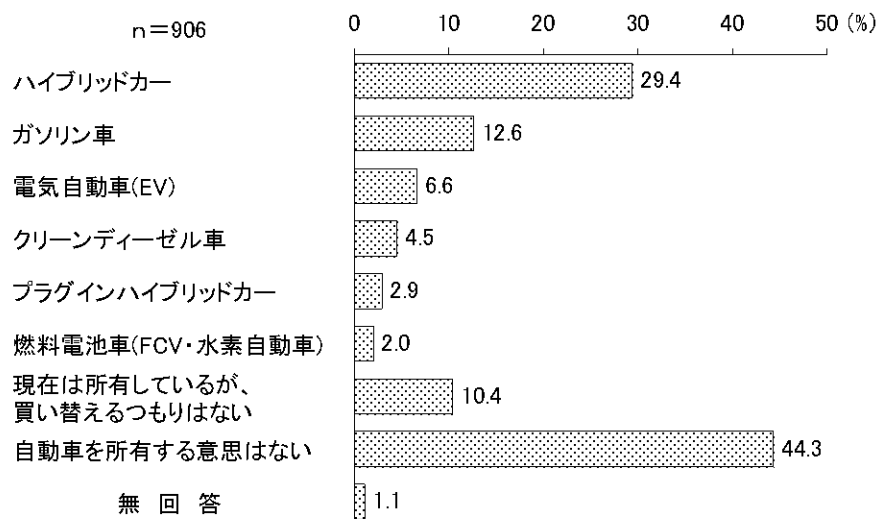


○カーシェアリングを利用していない理由を聞いたところ、「マイカーと比較して不便(利用者が集中すると利用できない等)」(39.0%)がほぼ4割で最も多く、次いで「近くに利用できる拠点がない」(16.0%)、「登録等の手続きが面倒である」(14.6%)と続いている。

(3) 自動車を買う場合や買い替える場合に良いと思う自動車の分類

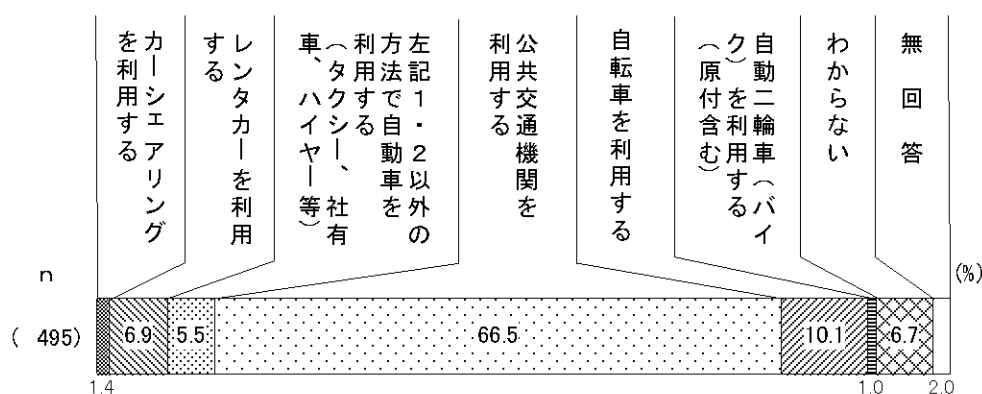
◇「ハイブリッドカー」がほぼ3割

問13 全員にお伺いします。あなた（同居の家族を含む）が新たな自動車を買う場合や買い替える場合、どの分類の自動車が良いですか。次の中からすべて選んでください。



○新たな自動車を買う場合や買い替える場合、どの分類の自動車が良いか聞いたところ、「ハイブリッドカー」(29.4%)がほぼ3割で最も多く、次いで「ガソリン車」(12.6%)、「電気自動車(EV)」(6.6%)と続いている。一方、「自動車を所有する意思はない」(44.3%)は4割台半ばとなっている。

【自動車を所有しない場合に代替する交通手段】

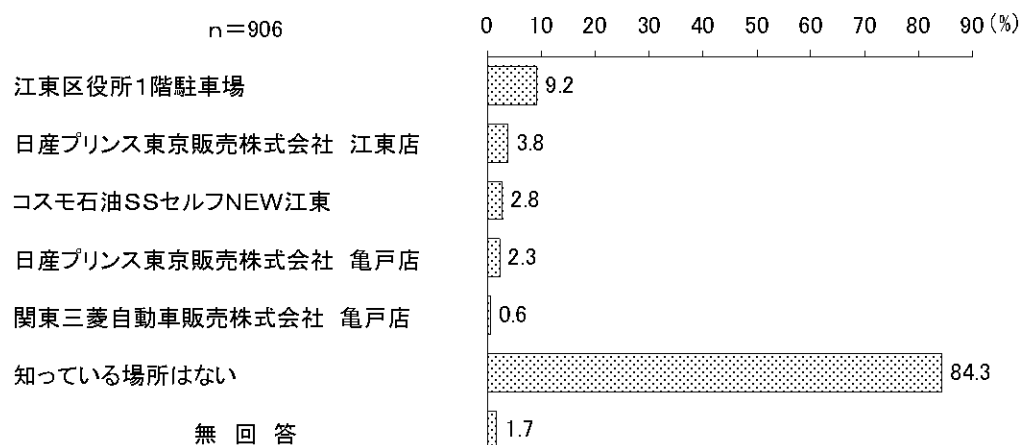


○自動車を所有しない場合、代替する交通手段としてどういった手段を選ぶか聞いたところ、「公共交通機関を利用する」(66.5%)が7割近くで最も多く、次いで「自転車を利用する」(10.1%)、「レンタカーを利用する」(6.9%)と続いている。

(4) 江東区内の急速充電設備の認知状況

◇「江東区役所1階駐車場」がほぼ1割

問14 江東区内には、5つの電気自動車（EV）用の急速充電設備があります。次の中からあなたが知っている場所をすべて選んでください。



○江東区内の急速充電設備の認知状況を聞いたところ、「江東区役所1階駐車場」(9.2%)がほぼ1割となっている。一方、「知っている場所はない」(84.3%)は8割台半ばとなっている。

(5) 助成金があったら導入したい設備

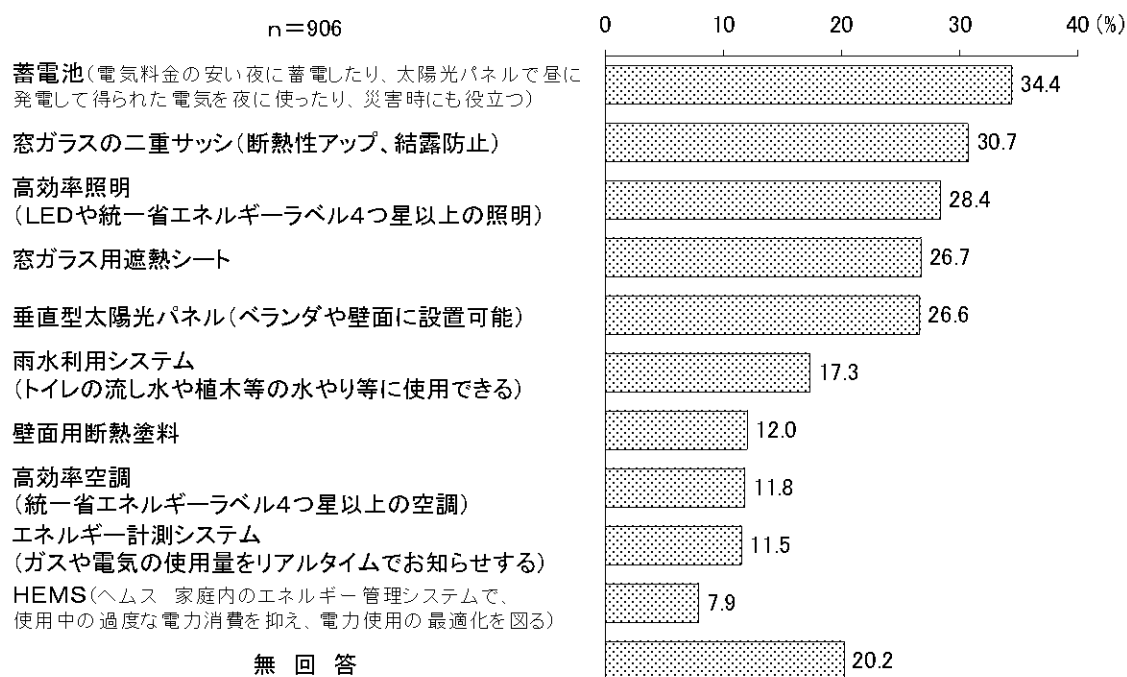
◇「蓄電池（電気料金の安い夜に蓄電したり、太陽光パネルで昼に発電して得られた電気を夜に使ったり、災害時にも役立つ）」が3割台半ば

江東区では、地球温暖化防止のために、以下の設備を導入すると概ね5%程度の助成金が支給されます。そこで、以下についてご回答いただけますようお願い申し上げます。

【現在の助成対象設備】

太陽光発電システム、ソーラーシステム、太陽熱温水器、CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器、ガス発電給湯器、家庭用燃料電池、高反射率塗装

問 15 以下の設備の中で、助成金があったら導入したいものをすべて選んでください。



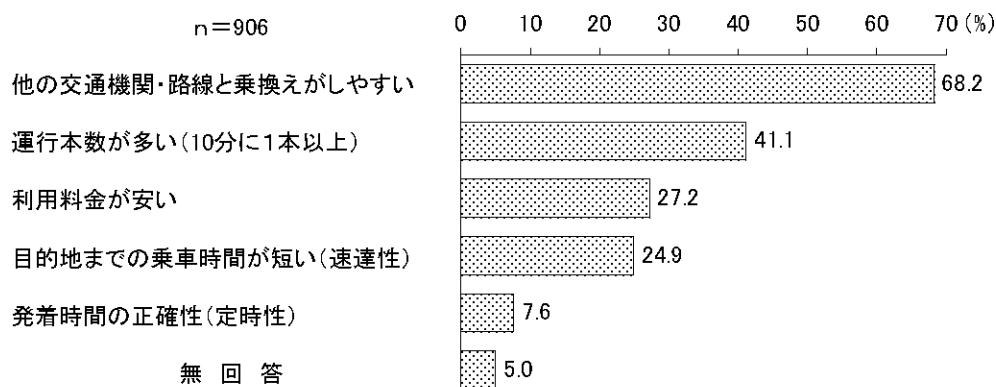
○助成金があったら導入したい設備を聞いたところ、「蓄電池(電気料金の安い夜に蓄電したり、太陽光パネルで昼に発電して得られた電気を夜に使ったり、災害時にも役立つ)」(34.4%)が3割台半ばで最も多く、次いで「窓ガラスの二重サッシ(断熱性アップ、結露防止)」(30.7%)、「高効率照明(LEDや統一省エネルギーラベル4つ星以上の照明)」(28.4%)と続いている。

5 南北交通

(1) 南北を結ぶ公共交通に求めるもの

◇「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」が7割近く

問 17 区では南北を結ぶ公共交通の充実を重点課題として位置づけ、有楽町線の延伸(豊洲-住吉間)や、バス路線の拡充等を検討しています。あなたが南北を結ぶ公共交通に求めるものを、次の中から2つまで選んでください。

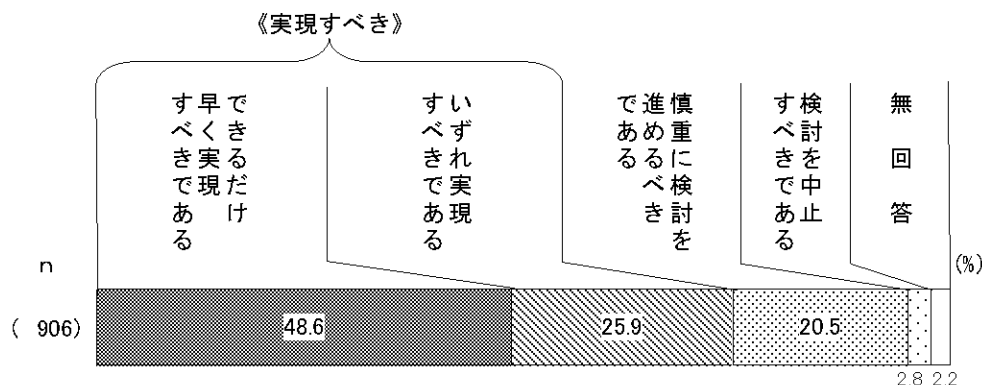


○南北を結ぶ公共交通に求めるものを聞いたところ、「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」(68.2%)が7割近くで最も多く、次いで「運行本数が多い(10分に1本以上)」(41.1%)、「利用料金が安い」(27.2%)と続いている。

(2) 有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考え

◇《実現すべき》が7割台半ば

問 18 区では、南北移動の利便性向上、東西線の混雑緩和などが期待される有楽町線の延伸(豊洲～住吉間)の早期実現を目指しています。あなたは有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についてどのように考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。

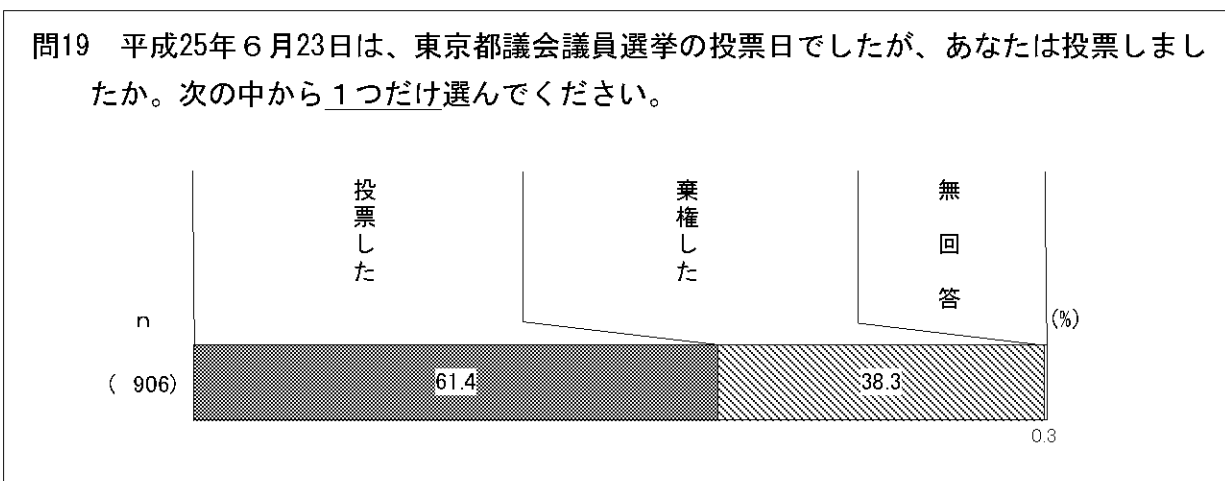


○有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考えを聞いたところ、「できるだけ早く実現すべきである」(48.6%)と「いずれ実現すべきである」(25.9%)の2つを合わせた《実現すべき》(74.5%)が7割台半ばとなっている。

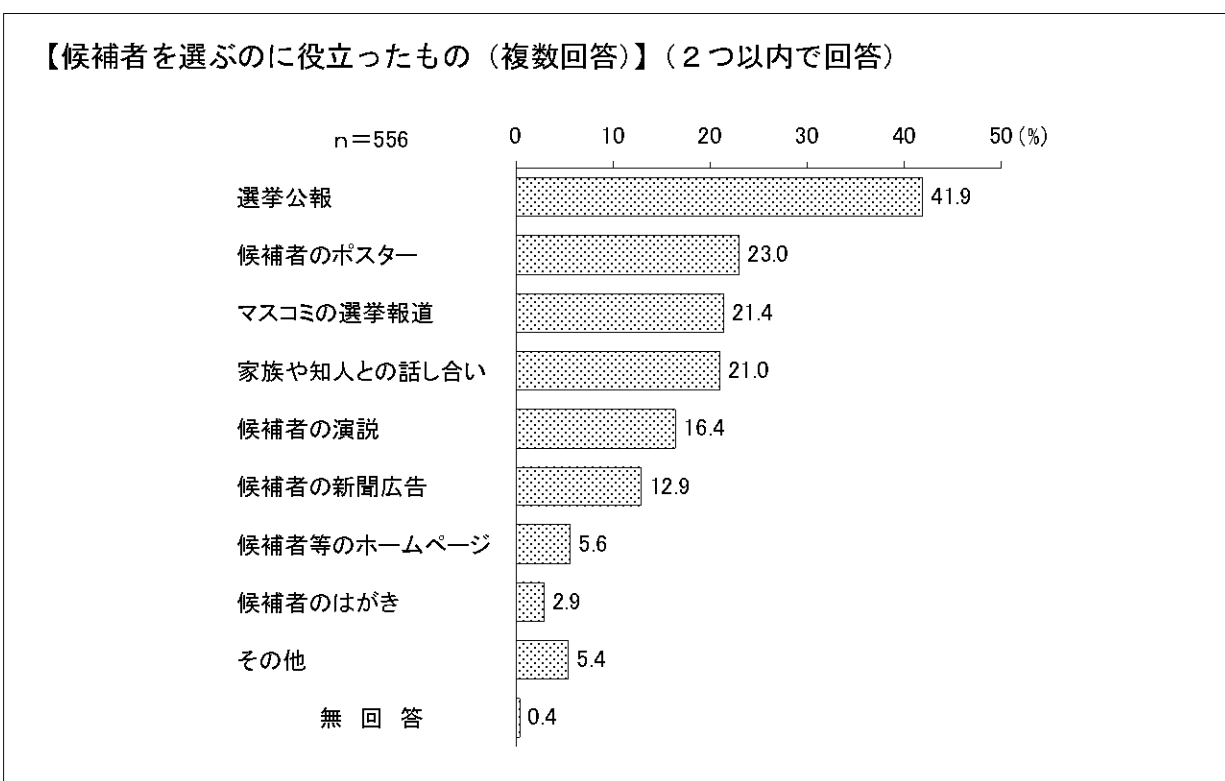
6 選挙

(1) 東京都議会議員選挙の投票の有無

◇「投票した」は6割を超える

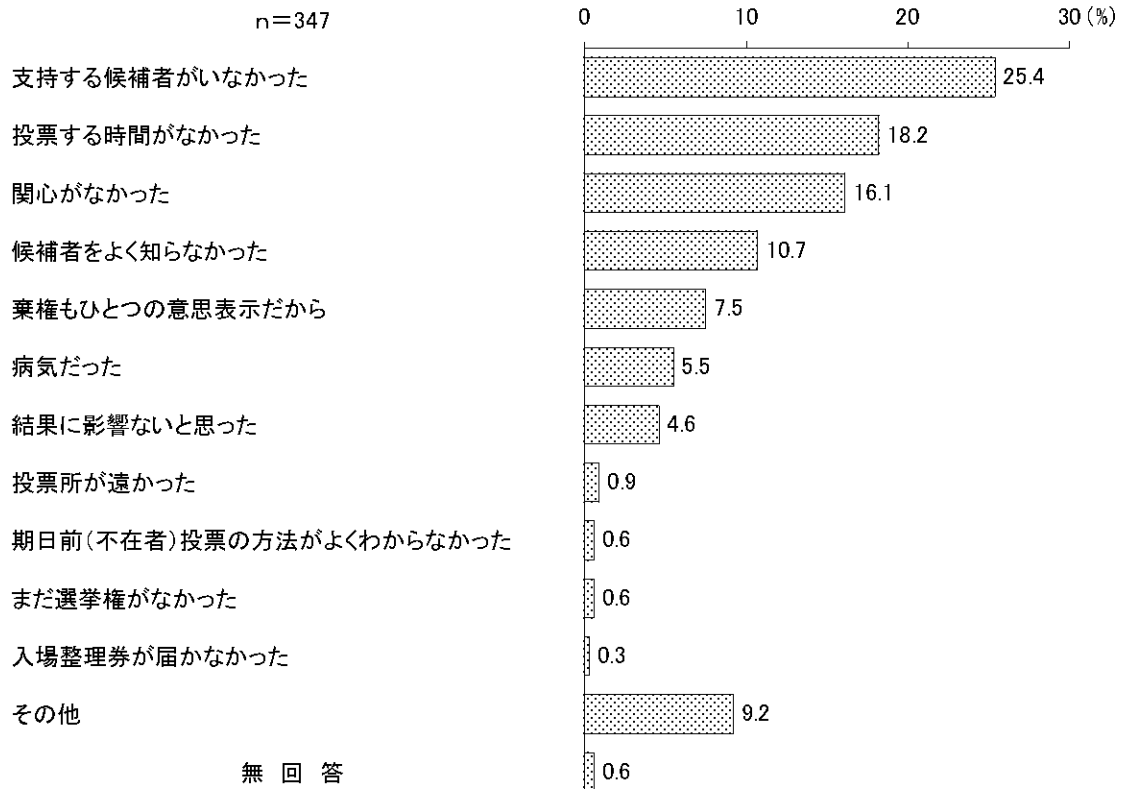


○平成 25 年 6 月に行われた東京都議会議員選挙に投票したか聞いたところ、「投票した」(61.4%)は6割を超えている。なお、実際の東京都議会議員選挙の投票率は46.82%であった。



○平成 25 年 6 月に行われた東京都議会議員選挙に「投票した」と答えた方 (556 人) に、候補者を選ぶのに役立つものは何か聞いたところ、「選挙公報」(41.9%)が4割を超え最も多く、次いで「候補者のポスター」(23.0%)、「マスコミの選挙報道」(21.4%)、「家族や知人との話し合い」(21.0%)と続いている。

【棄権理由】

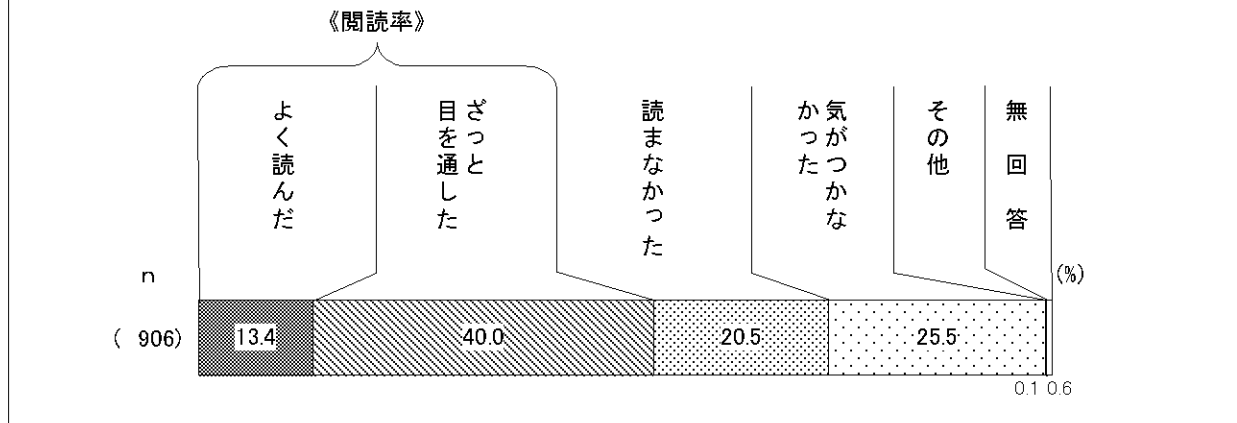


○平成 25 年 6 月に行われた東京都議会議員選挙に「棄権した」と答えた方 (347 人) に、その理由を聞いたところ、「支持する候補者がいなかった」(25.4%) が 2 割台半ばで最も多く、次いで「投票する時間がなかった」(18.2%)、「関心がなかった」(16.1%)、「候補者をよく知らなかった」(10.7%) と続いている。

(2) 「選挙公報」の閲読状況

◇《閲読率》は5割を超える

問20 区の選挙管理委員会では、東京都議会議員選挙の「選挙公報」を各戸配布し、また、区内各施設や区内各駅に公報スタンドを設置しましたが、あなたはお読みにになりましたか。次の中から1つだけ選んでください。



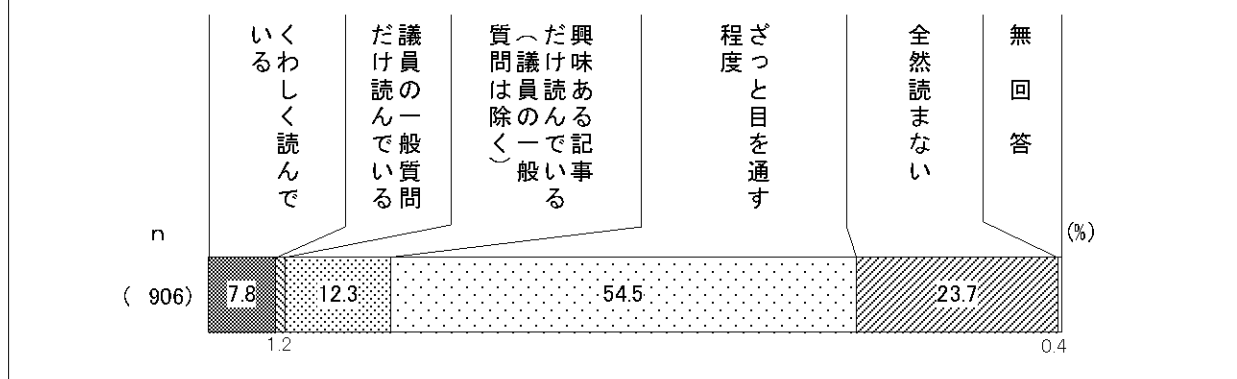
○東京都議会議員選挙の「選挙公報」を読んだか聞いたところ、「よく読んだ」(13.4%)と「ざっと目を通した」(40.0%)を合わせた《閲読率》(53.4%)は5割を超えている。「読まなかった」(20.5%)はほぼ2割、「気がつかない」(25.5%)は2割台半ばとなっている。

7 こうとう区議会だより

(1) 「こうとう区議会だより」の閲読状況

◇「ざっと目を通す程度」が5割台半ば

問21 「こうとう区議会だより」は全世帯の方にお届けしていますが、どのくらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

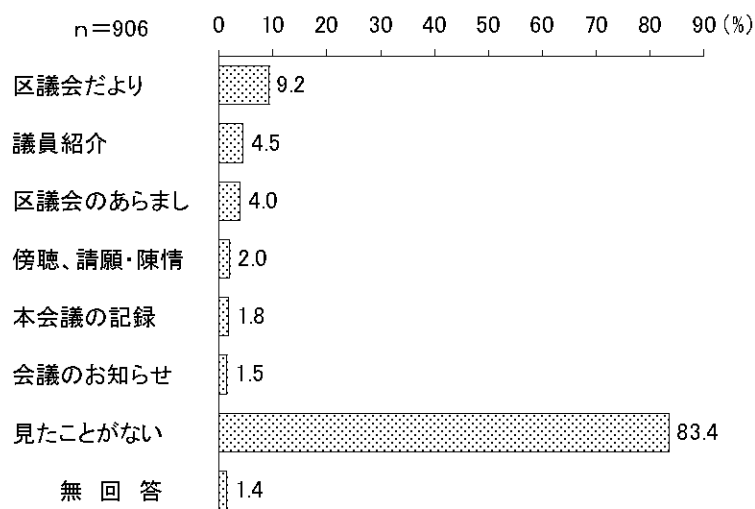


○「こうとう区議会だより」をどのくらい読んでいますか聞いたところ、「くわしく読んで」(7.8%)は1割近く、「興味ある記事だけ読んで(議員の一般質問を除く)」(12.3%)は1割を超えている。また、「ざっと目を通す程度」(54.5%)が5割台半ばで最も多くなっている。

(2) 区議会ホームページで見たことのある項目

◇「区議会だより」がほぼ1割

問22 区議会ホームページでご覧になったことのある項目は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



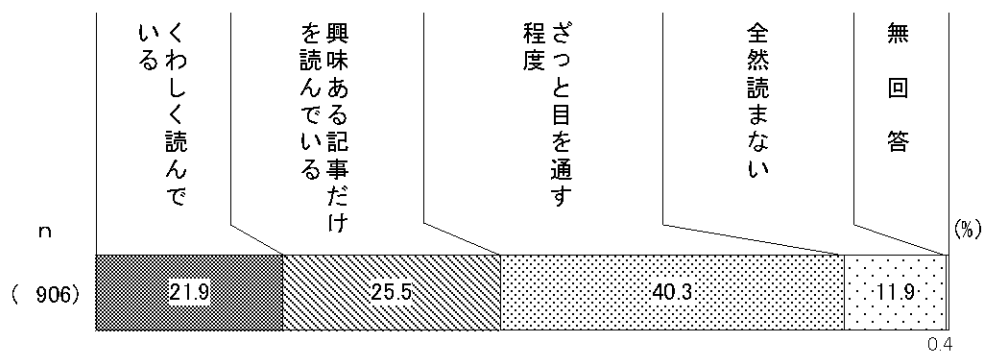
○区議会ホームページで見たことのある項目を聞いたところ、「区議会だより」(9.2%) はほぼ1割となっており、「見たことがない」(83.4%) が8割を超えている。

8 広報

(1) 「こうとう区報」の閲読状況

◇区報を読んでいる人は9割近く

問23 「こうとう区報」は全世帯の方にお届けしていますが、どのくらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

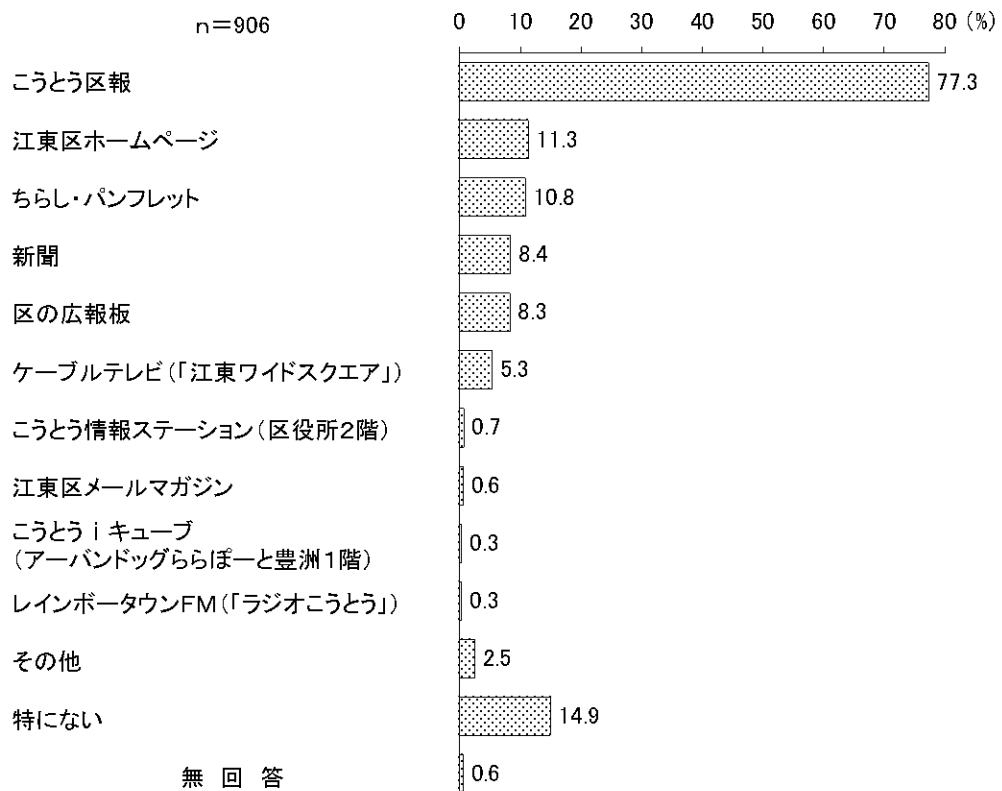


○「こうとう区報」をどのくらい読んでいますか聞いたところ、「くわしく読んでいます」(21.9%) は2割を超えている。「興味ある記事だけを読んでいる」(25.5%) は2割台半ば、「ざっと目を通す程度」(40.3%) は4割となっている。

(2) 区の仕事や行事の認知媒体

◇「こうとう区報」が8割近く

問24 区の仕事や行事を何で知りましたか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

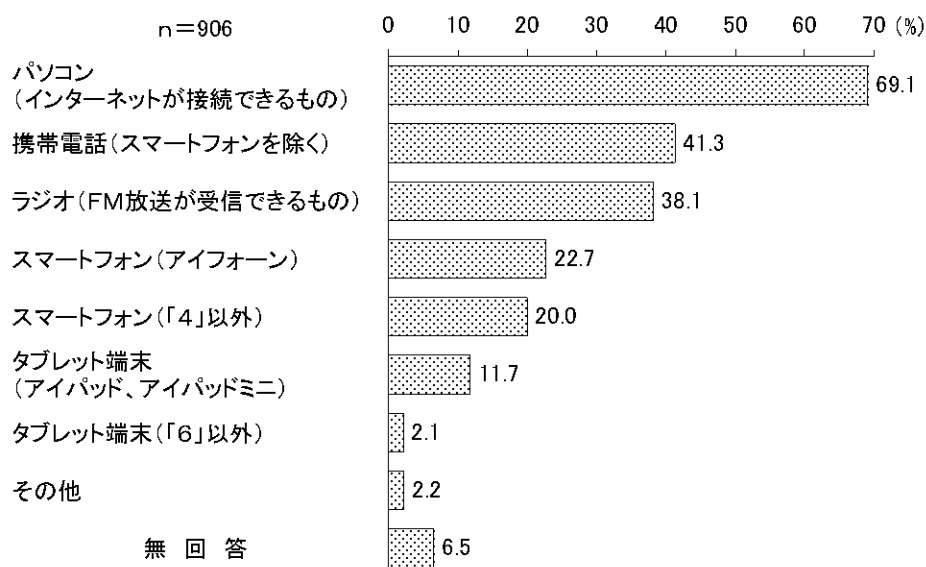


○区の仕事や行事の情報を何から得ているか聞いたところ、「こうとう区報」(77.3%)が8割近くで最も多く、次いで「江東区ホームページ」(11.3%)、「ちらし・パンフレット」(10.8%)、「新聞」(8.4%)、「区の広報板」(8.3%)と続いている。

(3) 情報を収集するための機器について持っているもの

◇「パソコン（インターネットが接続できるもの）」がほぼ7割

問 25 情報を収集するための機器について何を持っていますか。次の中から持っているものをすべて選んでください。

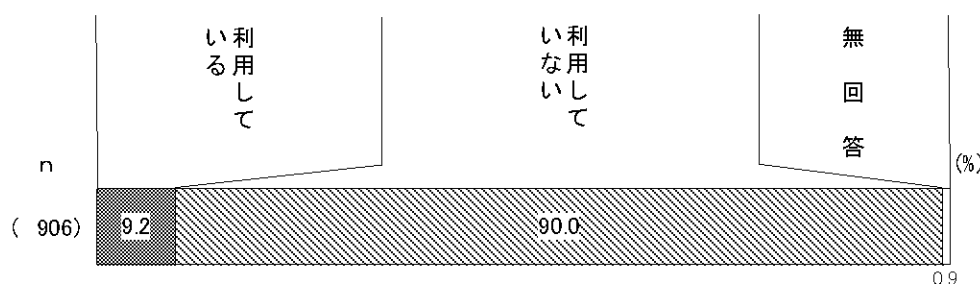


○情報を収集するための機器について何を持っているか聞いたところ、「パソコン（インターネットが接続できるもの）」(69.1%) がほぼ7割で最も多く、次いで「携帯電話（スマートフォンを除く）」(41.3%)、「ラジオ（FM放送が受信できるもの）」(38.1%)と続いている。

(4) 電子ブックの利用状況

◇「利用している」はほぼ1割

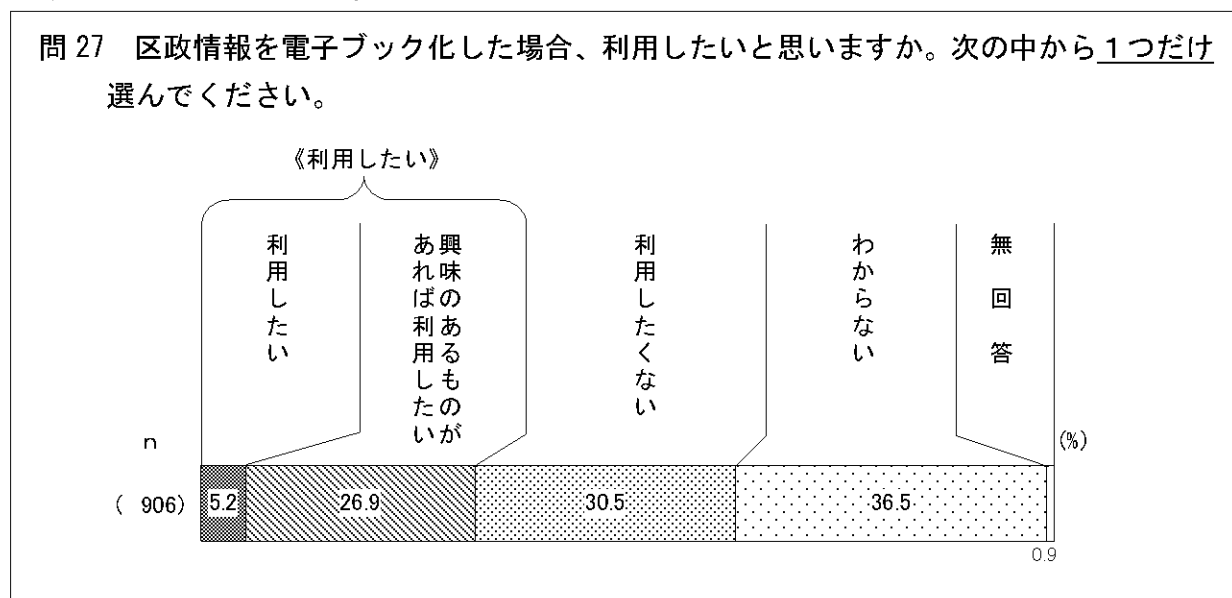
問 26 電子ブック（紙の印刷物ではなくディスプレイで読む書籍）を利用（読んで）していますか。次の中から1つだけ選んでください。



○電子ブックを利用しているか聞いたところ、「利用している」(9.2%) はほぼ1割となっており、「利用していない」(90.0%) が9割となっている。

(5) 区政情報を電子ブック化した場合の利用の有無

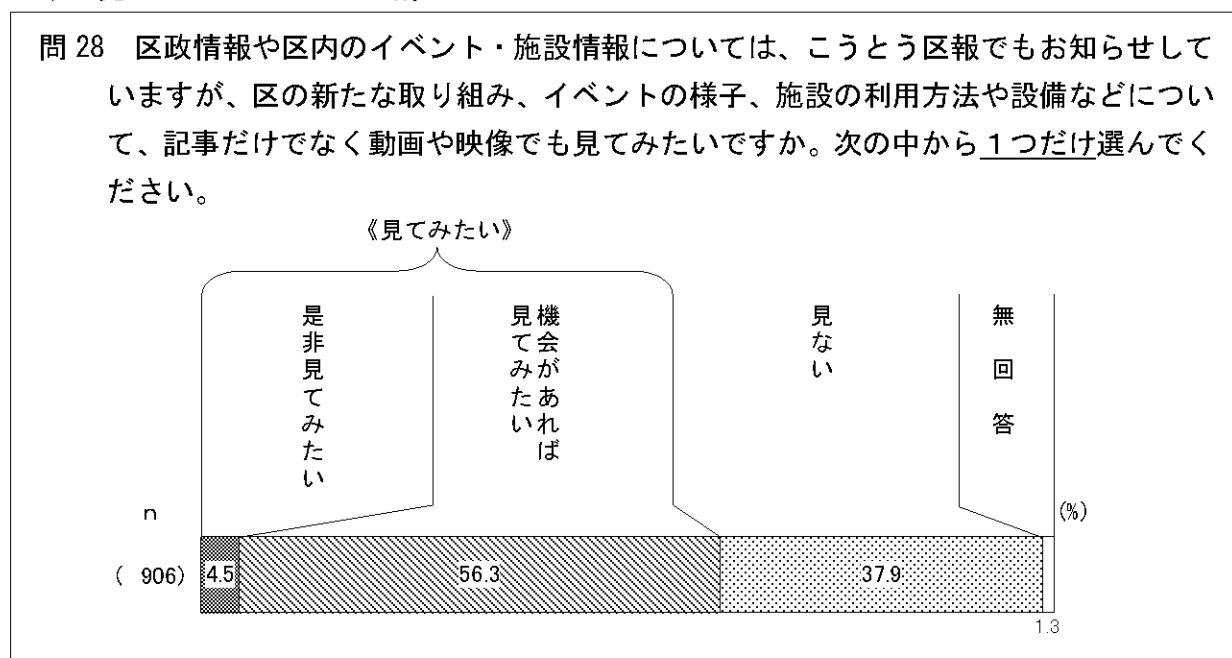
◇《利用したい》が3割を超える



○区政情報を電子ブック化した場合、利用したいと思うか聞いたところ、「利用したい」(5.2%)と「興味のあるものがあれば利用したい」(26.9%)の2つを合わせた《利用したい》(32.1%)が3割を超えている。一方、「利用したくない」(30.5%)はほぼ3割となっている。

(6) 区政情報や区内のイベント・施設情報を動画や映像で見たいか

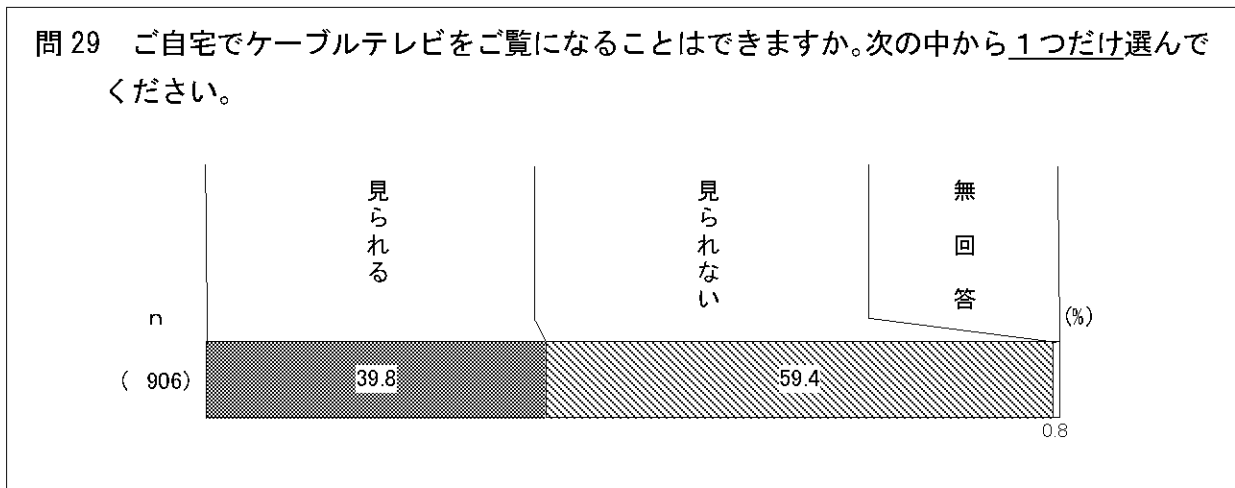
◇《見てみたい》はほぼ6割



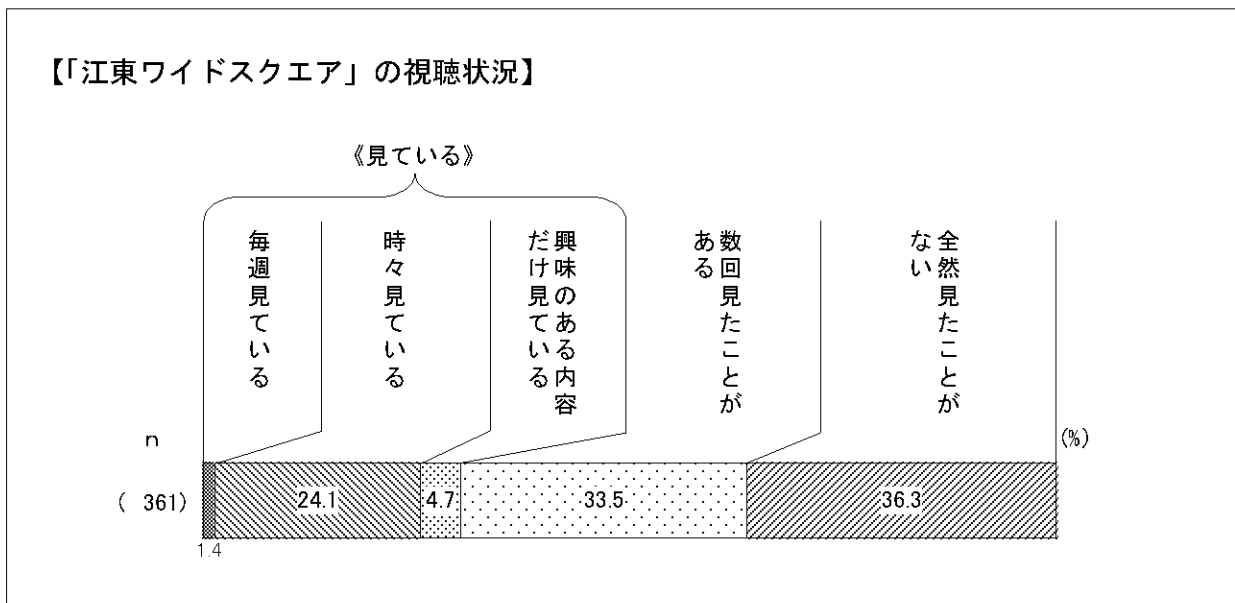
○区政情報や区内のイベント・施設情報を動画や映像で見たいか聞いたところ、「是非見てみたい」(4.5%)と「機会があれば見てみたい」(56.3%)の2つを合わせた《見てみたい》(60.8%)がほぼ6割となっている。一方、「見ない」(37.9%)は4割近くとなっている。

(7) ケーブルテレビの視聴の可否

◇「見られる」が4割

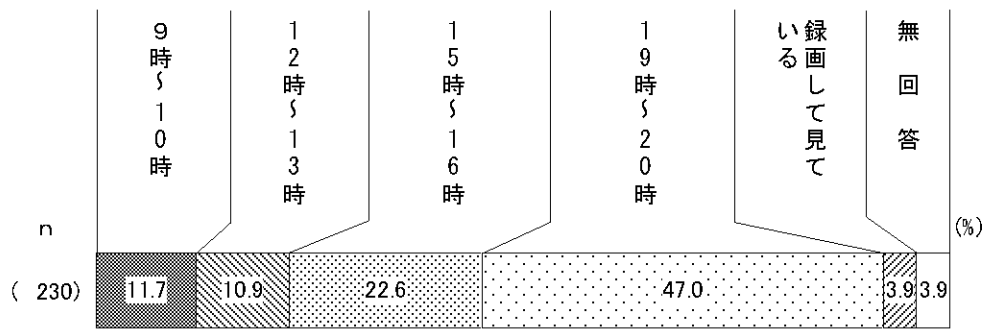


○自宅でケーブルテレビを見ることができると聞いたところ、「見られる」(39.8%)は4割、「見られない」(59.4%)がほぼ6割となっている。



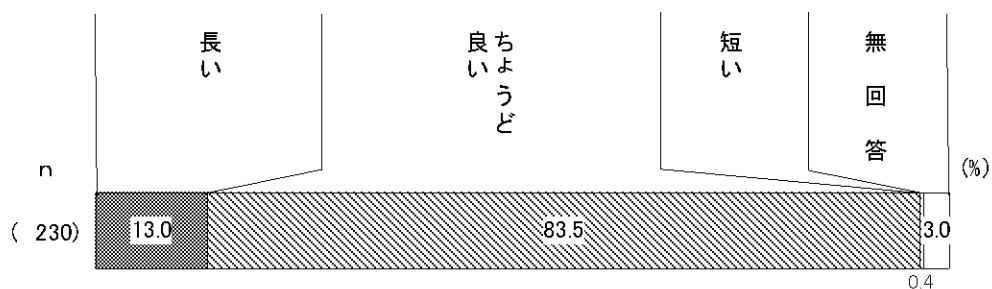
○「江東ワイドスクエア」をどれくらい視聴しているか聞いたところ、「毎週見ている」(1.4%)、「時々見ている」(24.1%)、「興味のある内容だけ見ている」(4.7%)の3つを合わせた《見ている》(30.2%)が3割となっている。

【見ることが多い時間帯】



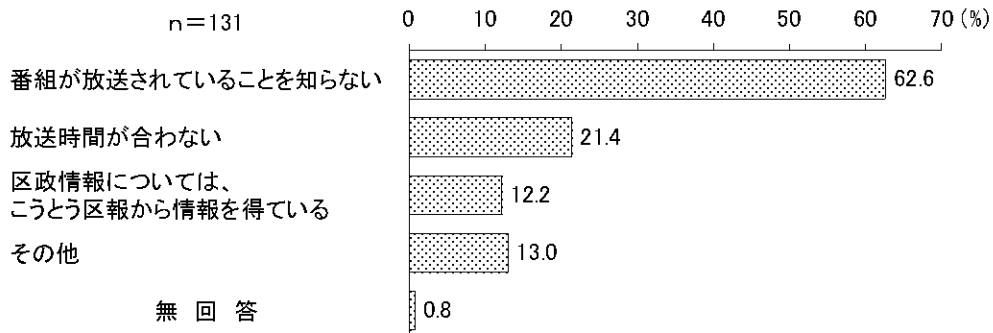
- 「江東ワイドスクエア」をどの時間帯に見ることが多いか聞いたところ、「19時～20時」(47.0%)が5割近くで最も多く、次いで「15時～16時」(22.6%)、「9時～10時」(11.7%)と続いている。

【番組の長さ】



- 「江東ワイドスクエア」の番組の長さは適当か聞いたところ、「ちょうど良い」(83.5%)が8割を超え最も多くなっている。また、「長い」又は「短い」と答えた方の希望する番組の長さをみると、「長い」(13.0%)と答えた方の平均は29.6分となっている。

【視聴しない理由（複数回答）】

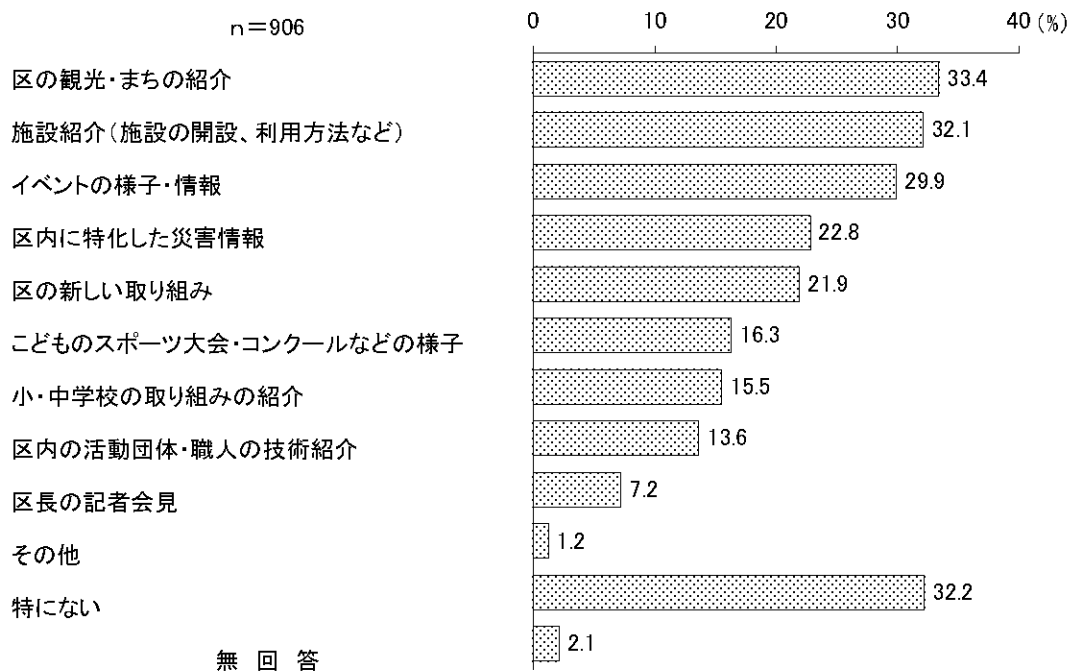


○「江東ワイドスクエア」を見ない理由を聞いたところ、「番組が放送されていることを知らない」（62.6%）が6割を超え最も多くなっている。

（8）「江東ワイドスクエア」で興味のある内容

◇「区の観光・まちの紹介」と「施設紹介（施設の開設、利用方法など）」が3割を超える

問 30 「江東ワイドスクエア」では、区政情報や、区内のイベント情報やその様子について、放送しています。どのような内容に興味がありますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

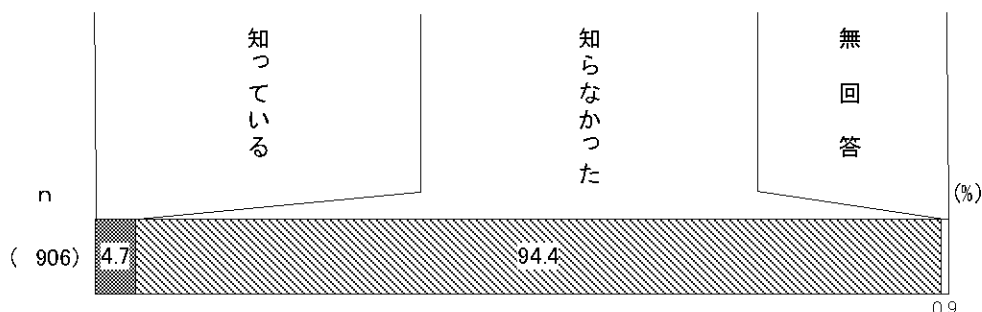


○「江東ワイドスクエア」で興味のある内容を聞いたところ、「区の観光・まちの紹介」（33.4%）が3割を超え最も多く、次いで「施設紹介（施設の開設、利用方法など）」（32.1%）、「イベントの様子・情報」（29.9%）、「区内に特化した災害情報」（22.8%）が続いている。

(9) 番組DVD貸出や区ホームページでの動画配信の認知状況

◇「知らなかった」が9割台半ば

問31 番組を見逃してしまったり、ケーブルテレビが見られなかったりする方のために、番組DVDの貸出や、区ホームページで動画配信を行っていることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

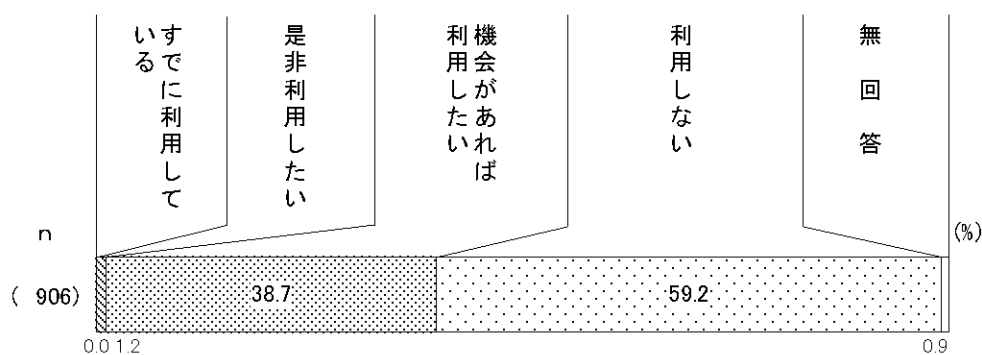


○番組DVDの貸出や、区ホームページで動画配信を行っていることを知っているか聞いたところ、「知っている」(4.7%)は1割未満、「知らなかった」(94.4%)が9割台半ばとなっている。

(10) 番組DVD貸出や区ホームページでの動画配信の利用希望

◇「機会があれば利用したい」が4割近く

問32 番組DVDの貸出や、区ホームページの動画配信を利用したいですか。次の中から1つだけ選んでください。



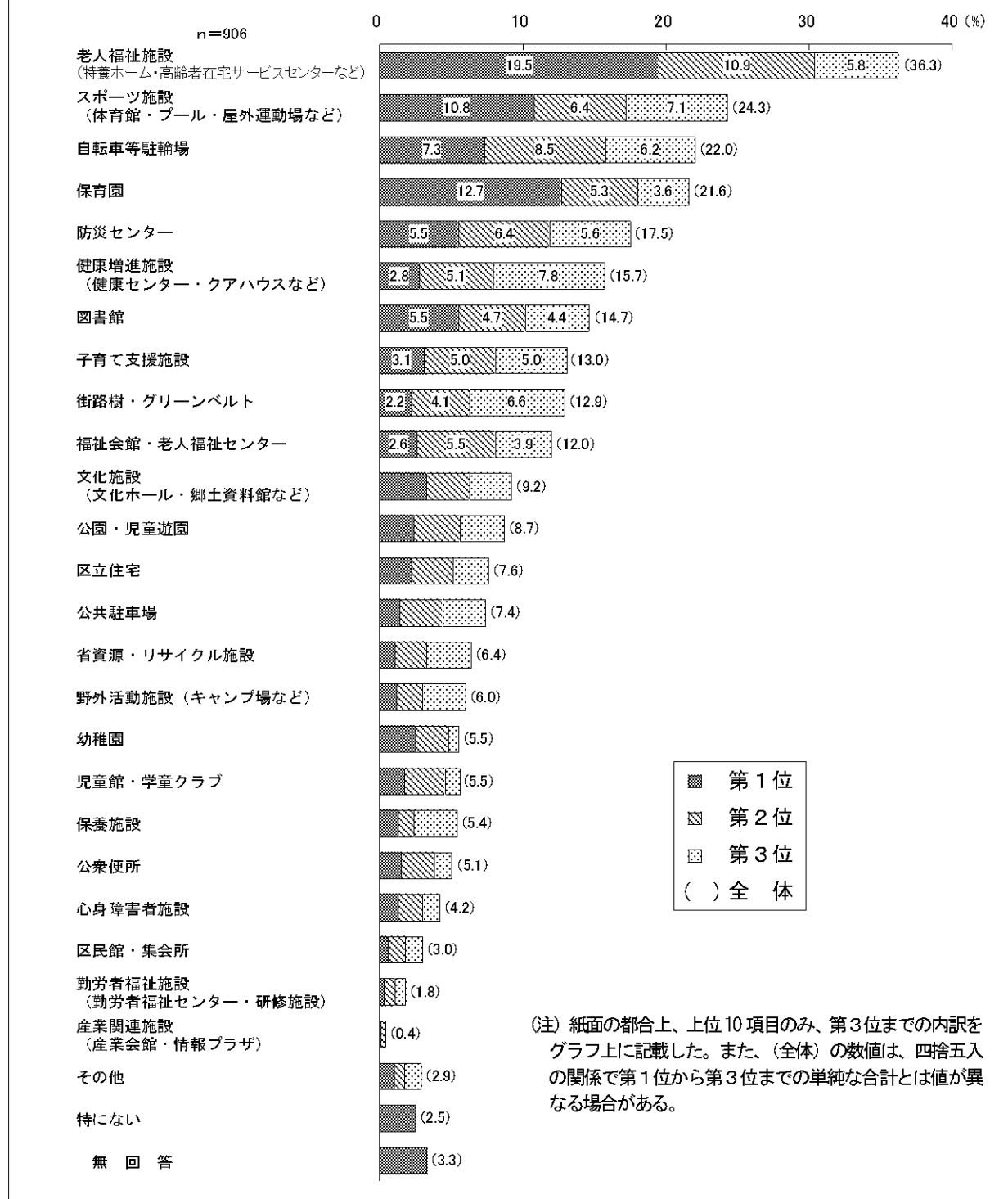
○番組DVDの貸出や、区ホームページの動画配信を利用したいか聞いたところ、「機会があれば利用したい」(38.7%)が4割近くとなっている。一方、「利用しない」(59.2%)はほぼ6割となっている。

9 充実すべき施設

(1) 充実すべき施設

◇「老人福祉施設（特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど）」が3割台半ば

問33 今後、区でさらにどのような施設を充実させていくべきだと思いますか。3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



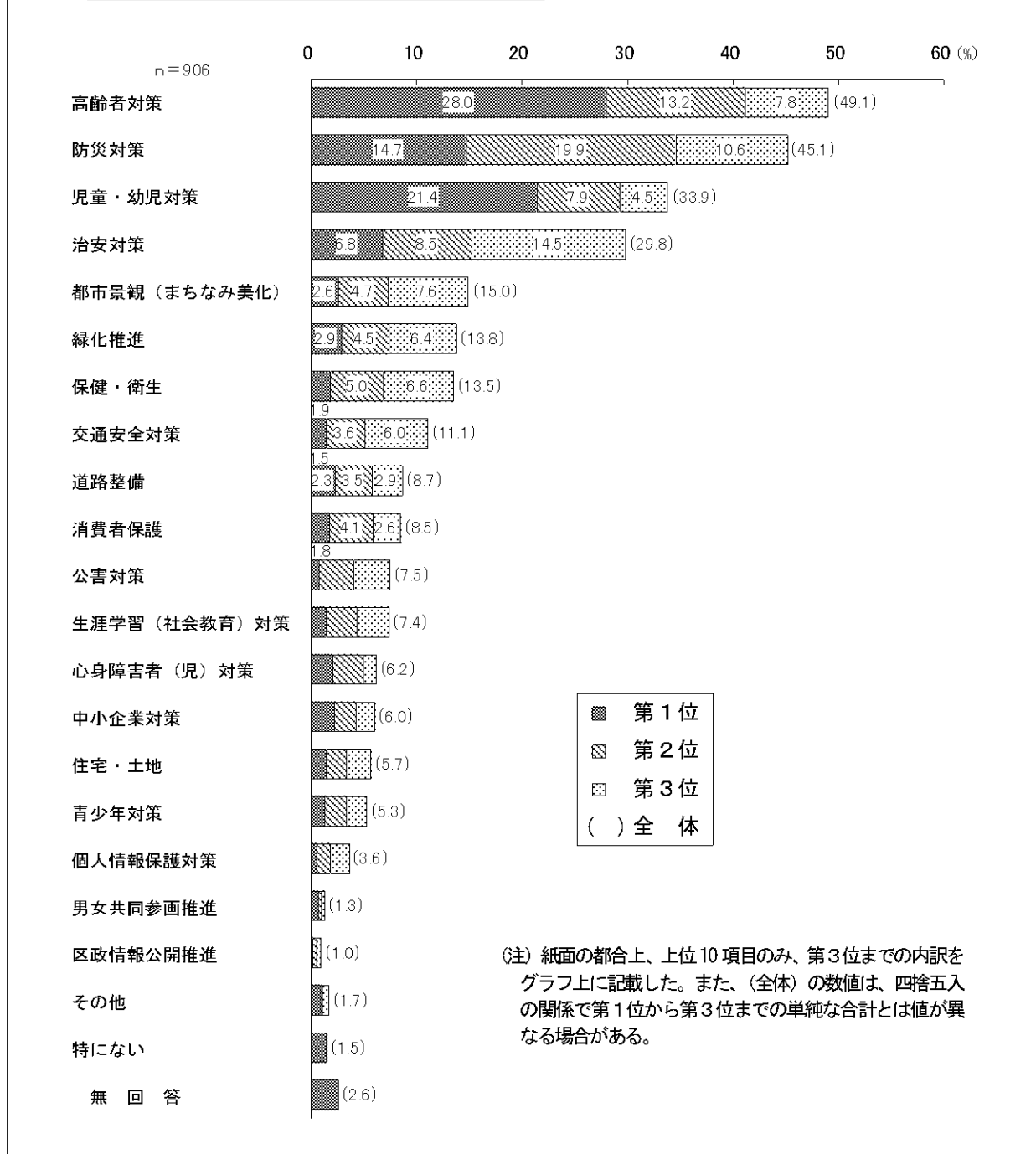
○どのような施設を充実するべきだと思うかを、第1位から第3位までを累計した《全体》で見ると、「老人福祉施設（特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど）」(36.3%)が3割台半ばで最も多くなっている。

10 施策への要望

(1) 力を入れてほしい施策

◇「高齢者対策」がほぼ5割

問 34 次の項目の中から、あなたが区に対して特に力を入れてほしいものを、3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



○区に対して特に力を入れてほしいものを、第1位から第3位までを累計した《全体》で見ると、「高齢者対策」(49.1%)がほぼ5割で最も多く、次いで「防災対策」(45.1%)、「児童・幼児対策」(33.9%)、「治安対策」(29.8%)と続いている。